

特234
304



始



特 234
304



新
潟
縣
青
少
年
團
藏

新潟縣青少年團



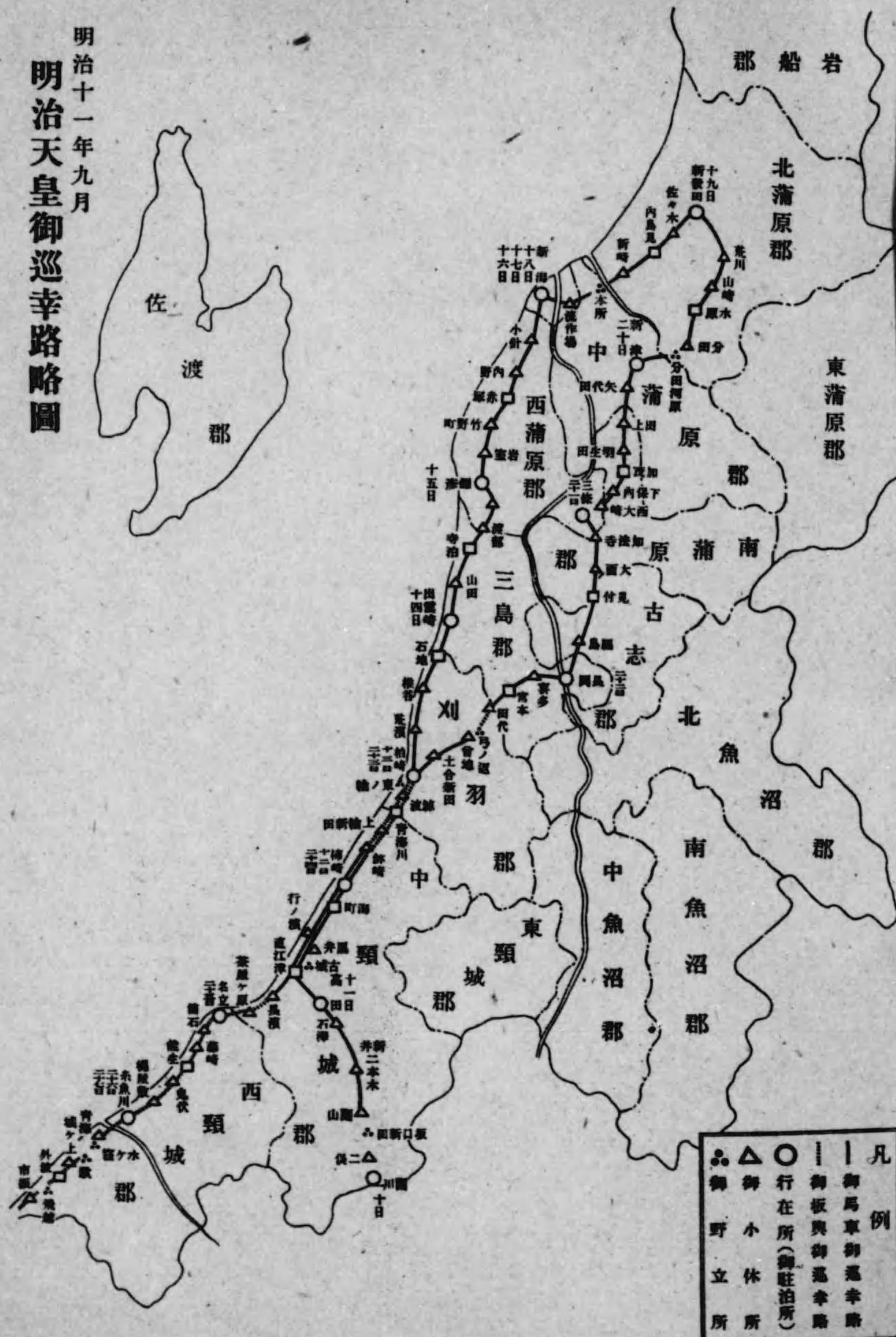
昭憲皇太后御歌

はつかりをまつとはなしに此の秋は
こしぢの空のながめられつゝ

明治十一年九月十一日 前日信濃路より越路に入らせられた聖駕は、關川驛行在所に御駐泊、此の朝 御板輿に召され御發轅あらせられました。

爾來星霜六十五年、昭和十七年九月十一日、此の日、附近沿道町村から選ばれた乙女たち二十人は、關川の御聖蹟前に集合、そのかみ御巡幸のみ跡をしたひて、時間も同じ午前七時、聖徳景仰の旗を先頭に自轉車にて出發致しました。

明治十一年九月
 明治天皇御巡幸路略圖



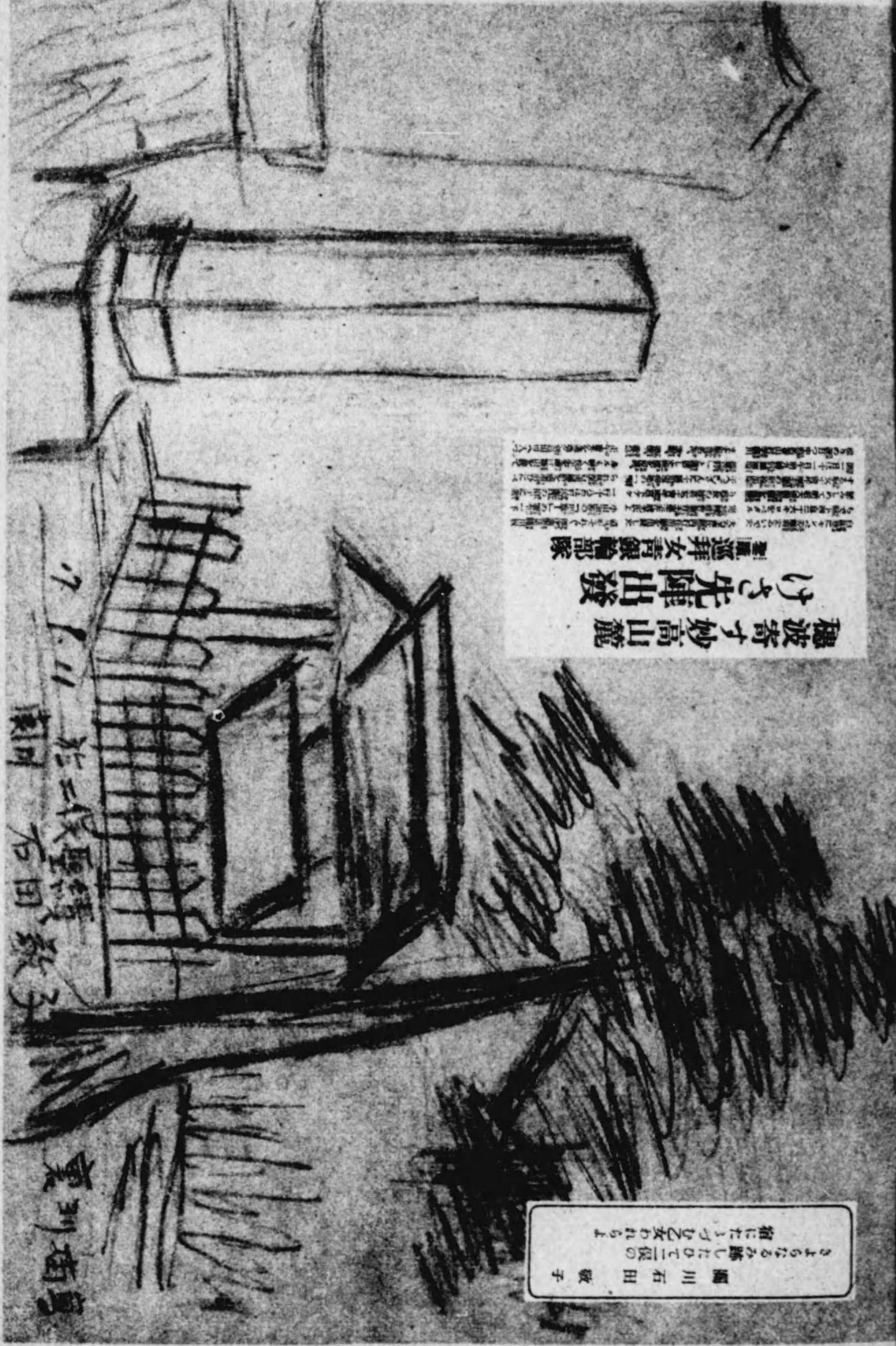
昭和十八年四月

新潟縣青少年團

新潟縣青少年團主催の、女子青年自轉車隊による明治天皇北陸御巡幸御聖蹟巡歴は、此の様にして實施されたのです。昭和の聖代に生を享けた幸多き娘達五六三人は、毎日午前と午後二十人づゝの交代で、白はちまきにモンベ姿、自轉車のベタルも軽やかに、六十五年前の御幸のその日々を偲び奉りながら、御聖蹟を拜し、古老の物語りに耳を傾け、和歌に繪に、初秋の數日を郷土の榮えある歴史を學びつゝ、過したのでした。

此の小冊子は、娘たちの謹作せる和歌と寫生をもとに、それに當時の諸新聞の記事、寫眞等を拜借して編輯致しました。和歌は法にかなはず繪は拙くとも、越路の乙女たちの敬虔な心をおくみとりになつて下さい。

尙表紙の題字は、糸魚川町にお住ひの相馬御風先生に書いて頂きました。茲に厚くお禮申し上げます。



穂波寄才妙高山麓
けさ先陣出發
重巡舞女警備部隊

17.1.11
南
於二保聖精
石田教子

重刊面寫

川石田 敬子
よるなるみ跡したてて候の
相にたいりて之をりはら



御座候一しし行ふ六、
少ゆきにまて候。此の
少しし 於國川聖蹟
國川 寺在長子

明鏡堂國川行在長跡

於國川

17.1.11 國川 石田教子

關山御小休所にて
 關山霜鳥
 真
 こゝにして大皇帝が用ひましよ
 大みうつはを拜みたりけり



17.9.11. 新田聖蹟
 南山 大久保カズエ

17.9.11. 新田聖蹟
 南山 大久保カズエ



關山霜鳥
 真
 御立し野のすまはほにいでて
 なく虫の音はつちにしにい
 坂口御野立所にて
 中 郷山崎 ノア
 大し日のつ
 御立し野のすまはほにいでて
 なく虫の音はつちにしにい



新井別院にて
新井宮本一柱
しるしを觀寺の風に行儀の
御講おろがみぬかてまじり

新井清水 調子
すこも標を分けてゆけば大帝
駐りましと昔おもはゆ



明治天皇御在所
新井宮本一柱

十七年九月十一日
新井女子青年會
青木七三

和田瀧本
 大御幸つゝかなかれと祈りけり
 命捧けし石澤の松



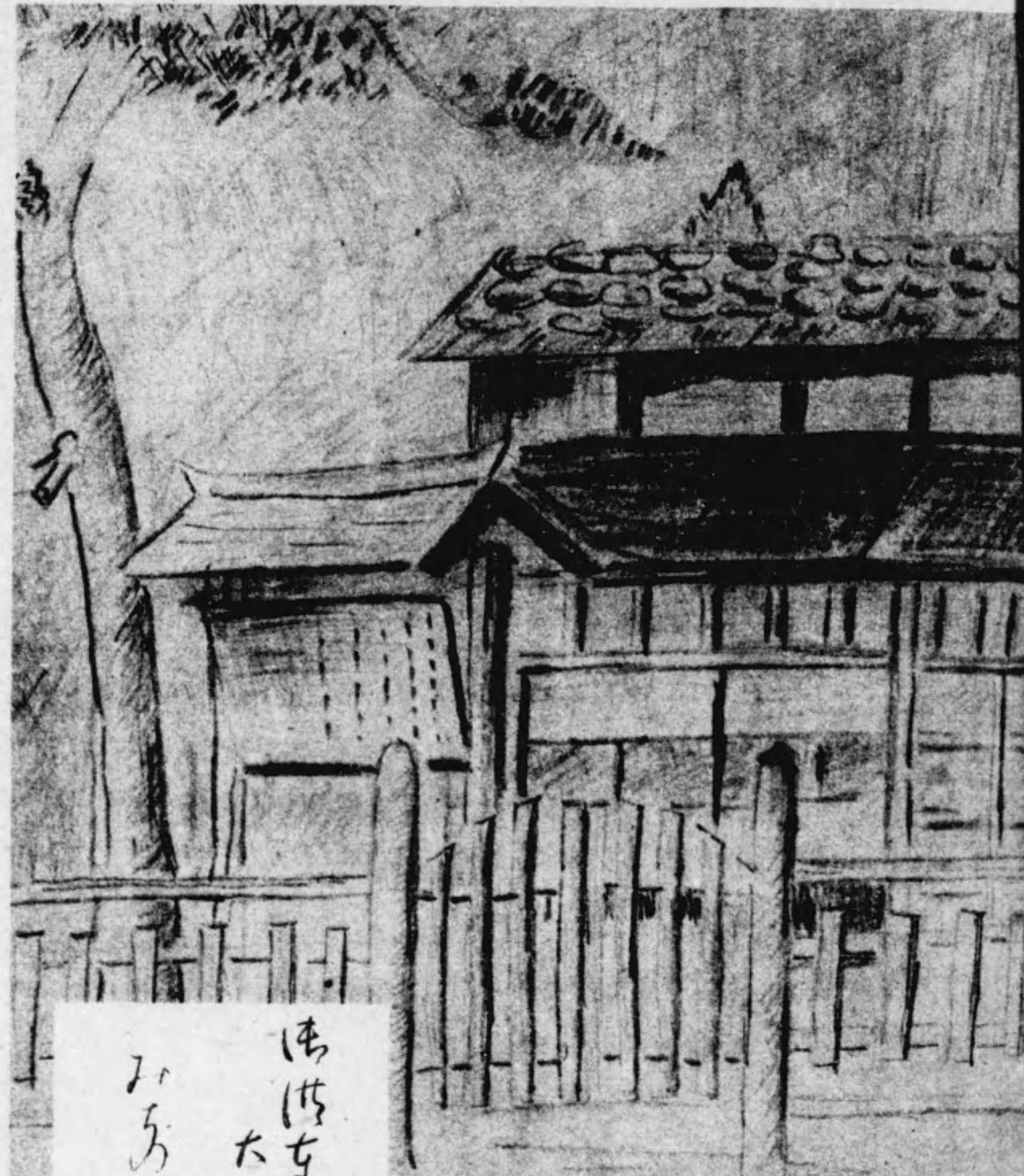
和
 田
 女
 子
 軍
 團
 植
 木
 入
 三
 五



和
 田
 女
 子
 軍
 團
 植
 木
 入
 三
 五

堂々高田に入る(第一)
 皇路巡歴銀輪行軍

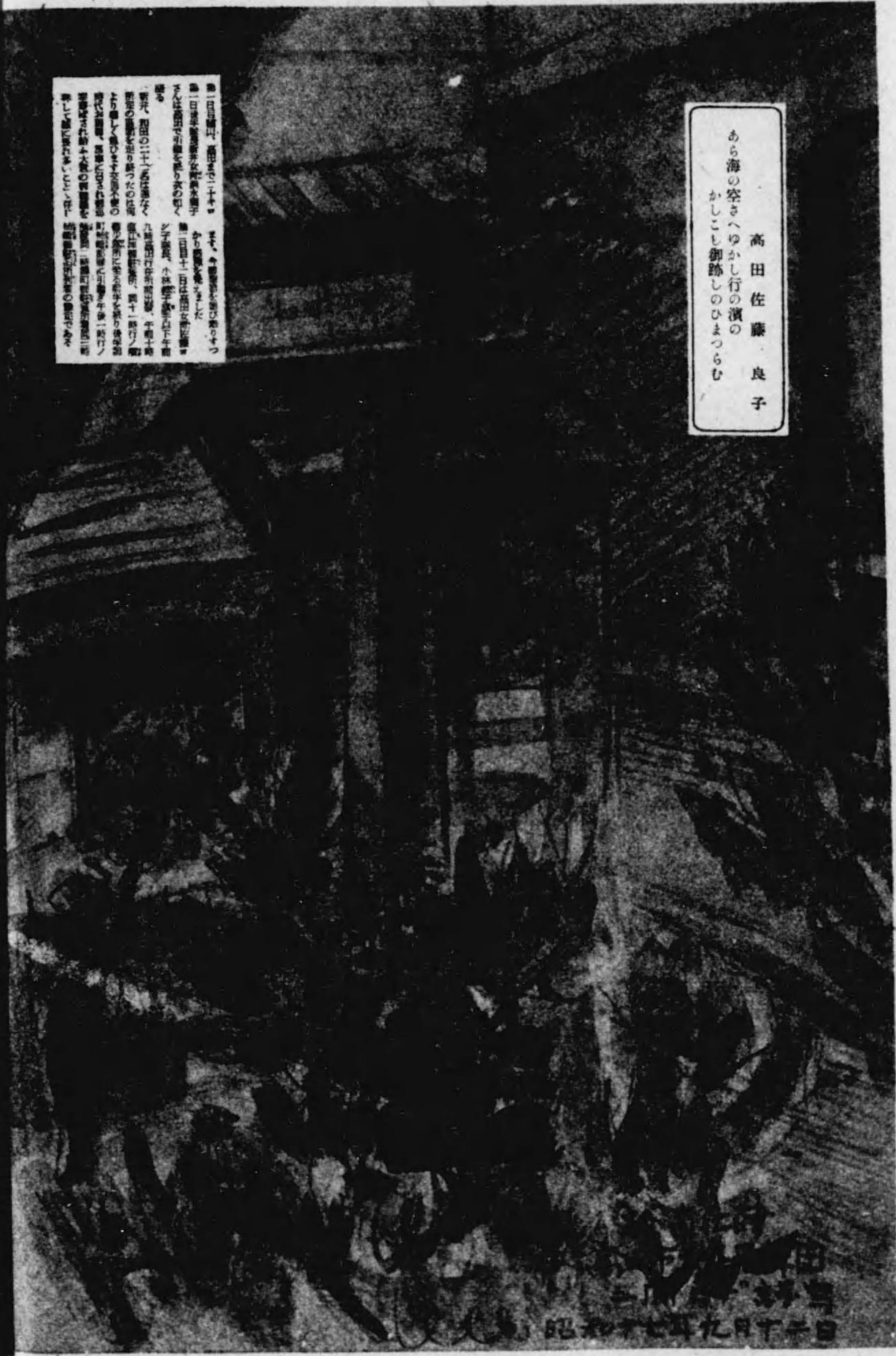
幾宵の白き花の御ゆるの一夜をなくさめにけり
 和田瀧本



此の頃
 大宮人
 たりけん
 白菜の花
 竹の浜に休所にて
 高田佐藤良子

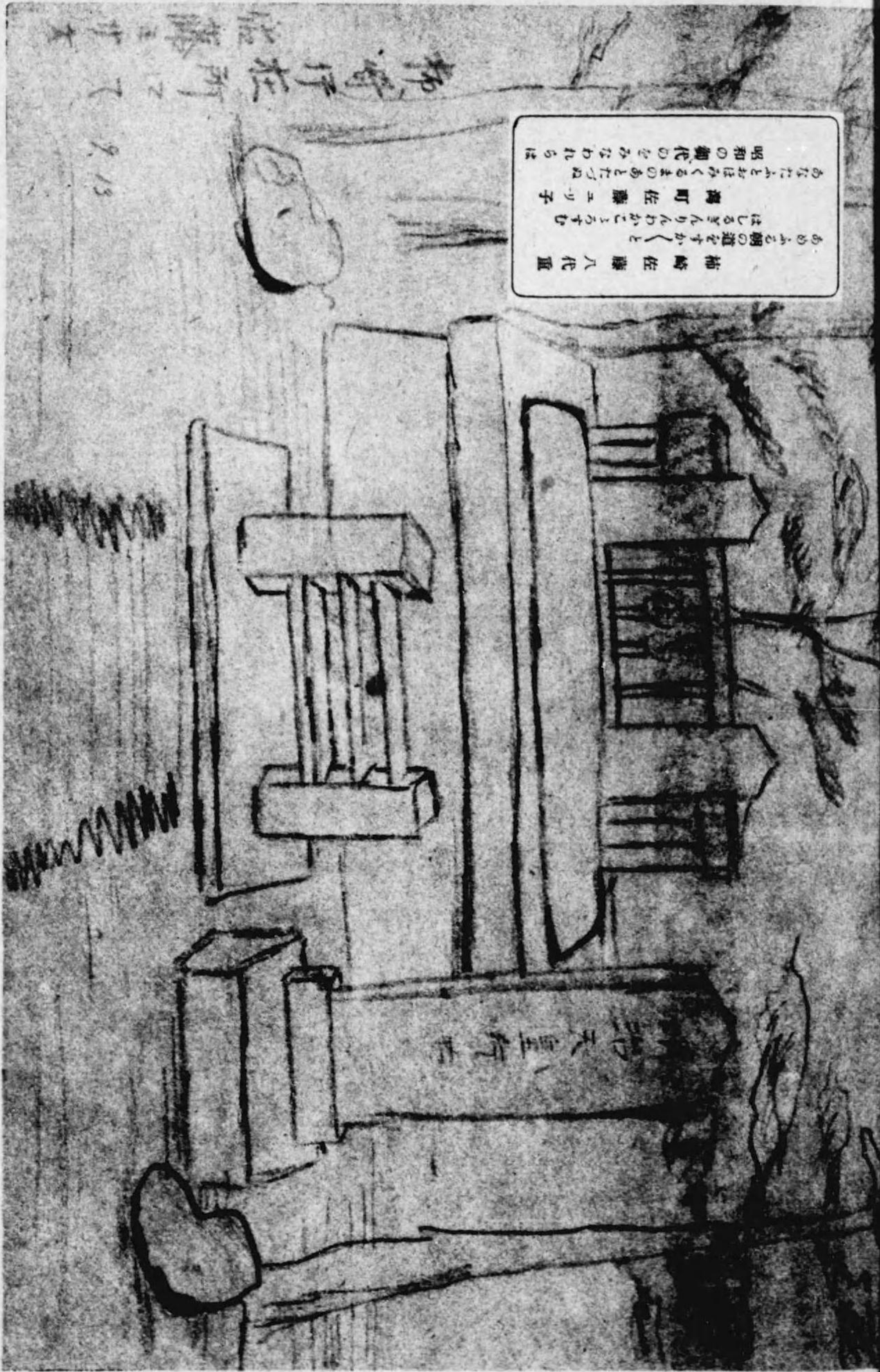
行ノ濱 - 於
 寺島 幸子謹
 昭和七年七月二十日

高田佐藤良子
 昭和七年七月二十日
 寺島幸子謹
 此の頃
 大宮人
 たりけん
 白菜の花



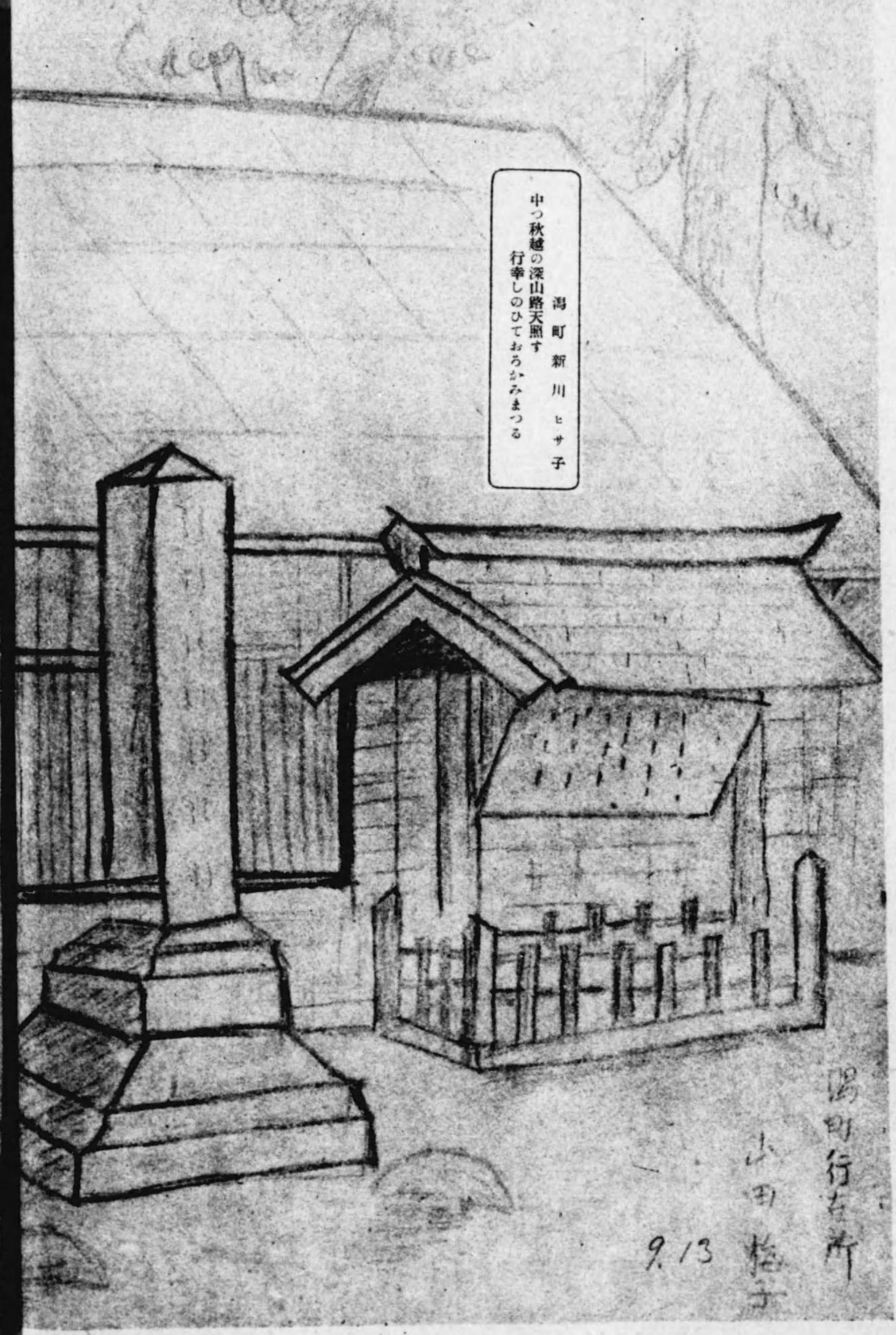
高田佐藤良子
 あら海の空さへゆかし行の濱の
 かしこも御跡しのひよつらむ

昭和七年九月十一日



あめふしの道すか
 はじりんわんか
 海町佐藤エッセイ
 昭和の時代のなまなわたりは

新大正行止
 9.13



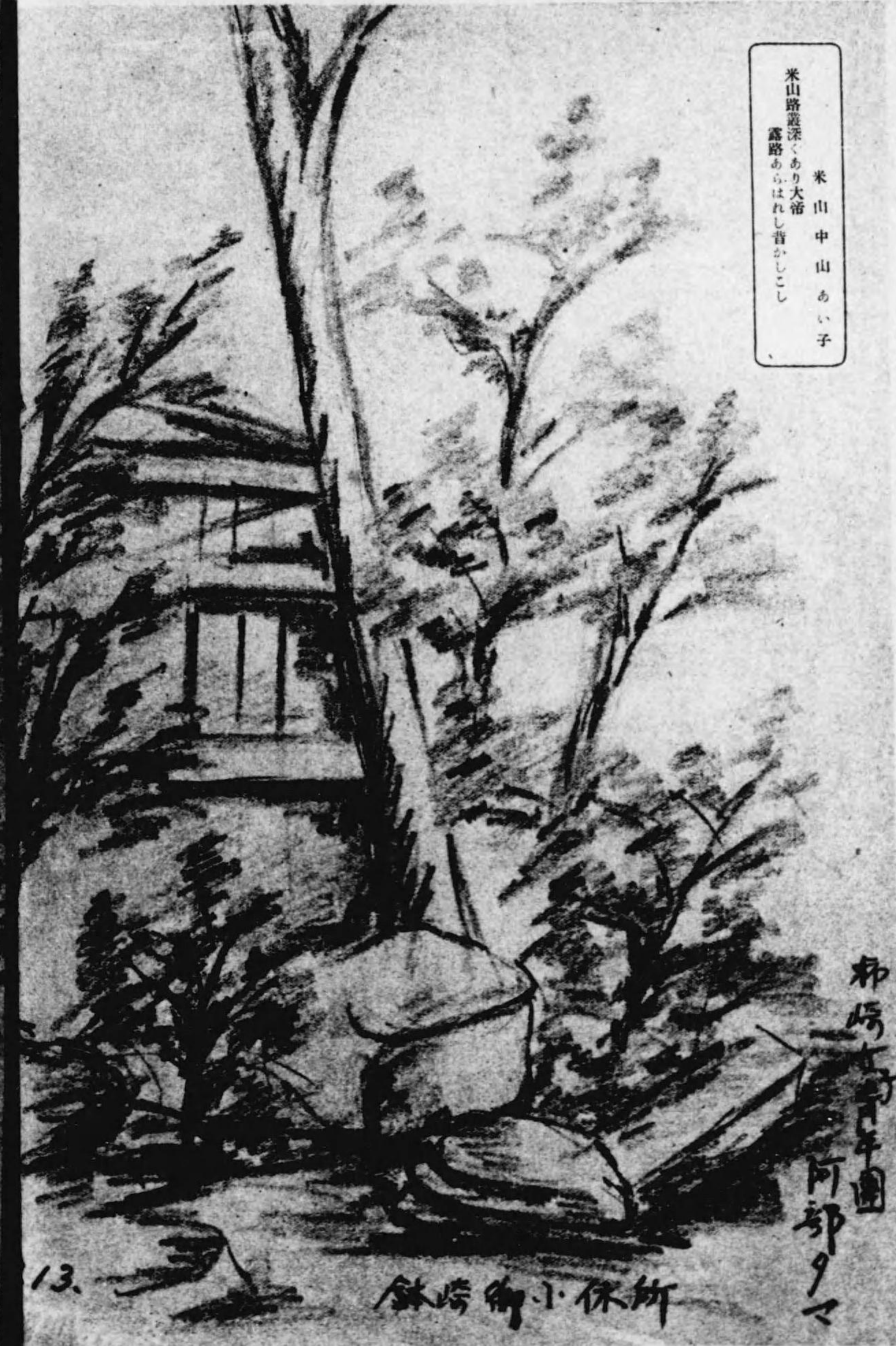
湯町新川ヒサ子
 中つ秋越の深山路天照す
 行幸しのひておろかみまつる

湯町行在所
 小田松子
 9.13



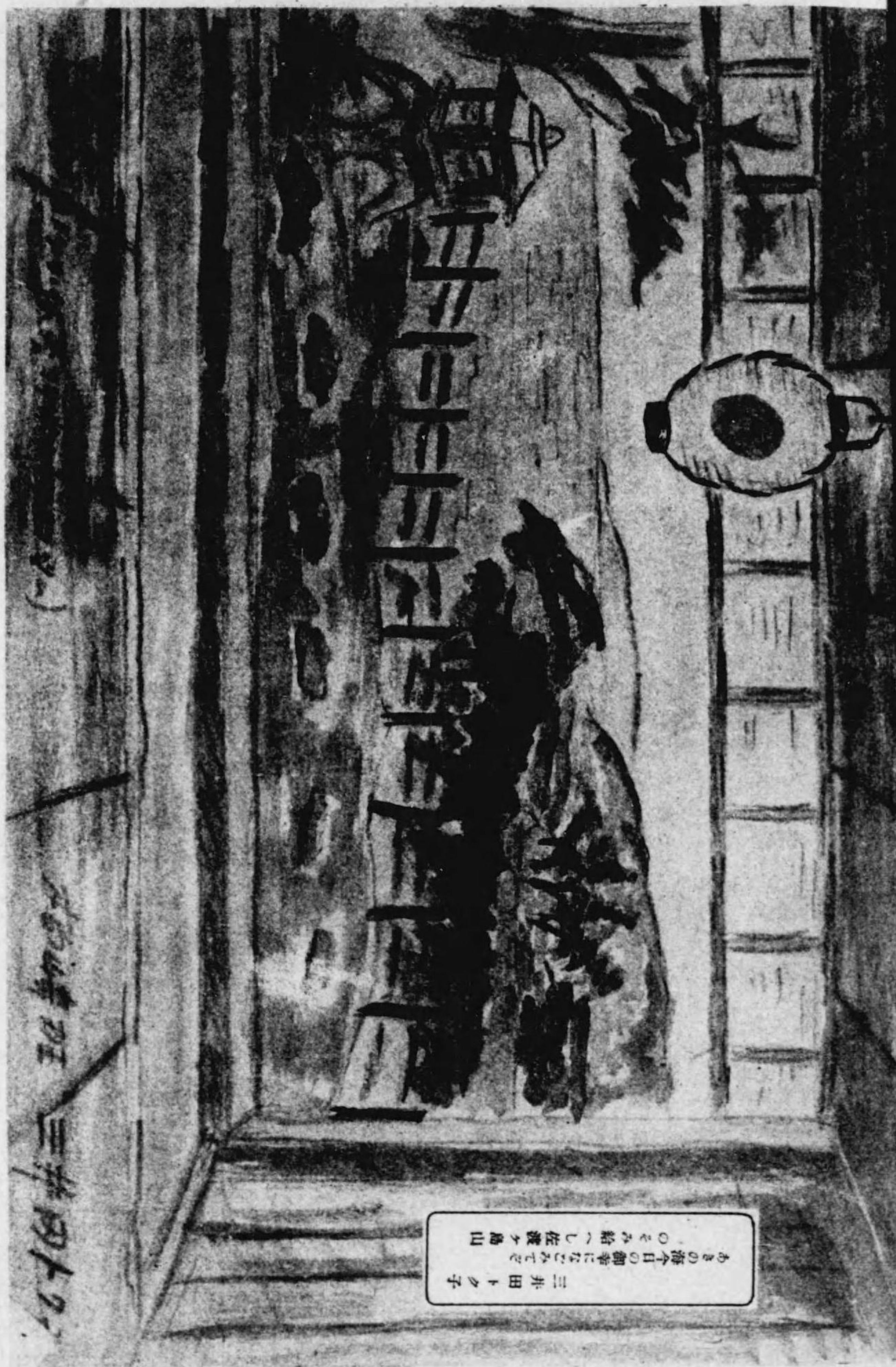
上輪新田御小休所にて
 米山 山田 穂子
 海山もわけてけはし米山路
 御跡のまゝをおろがみてゆく

9.13 上輪新田 御小休所にて
 米山 山田 穂子 筆



米山 中山 あい子
 米山路 露路あり大帯
 露路あらはれし昔かしこし

13. 御小休所
 米山 中山 あい子 筆
 和崎七郎年圖
 阿部タマ



あきの海全日の御幸にたごみで
 のそみ船へし佐渡ヶ島山
 三井田トク子

三井田トク子

米山三里の
 嶮路を突破
 女青銀輪部隊柏崎へ



柏崎木村 郁子
 聖帝のみあとに立ちてわれはいま
 かしこきかみましのびまつれり

9.13
 上野新田御小
 柏崎 駒野明子



上杉、フミエ
 9.13

潮風は宮居のうへにわたりをり
 越路の秋はやよにたけゆく
 上杉 フミエ



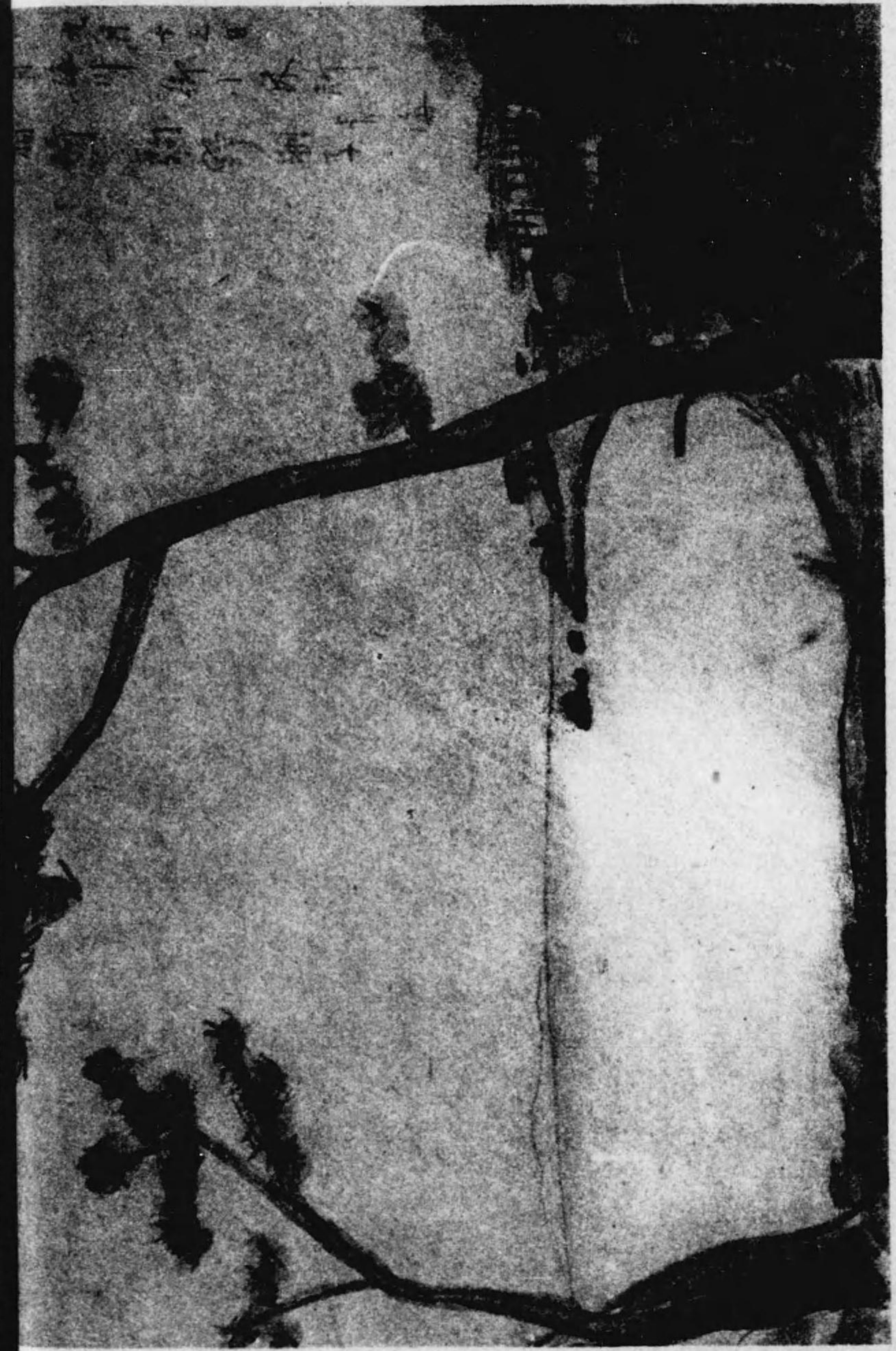
柏崎森 致子
 長崎海もはらたてあれやそのかみの
 無事かしくみおろがみまつる



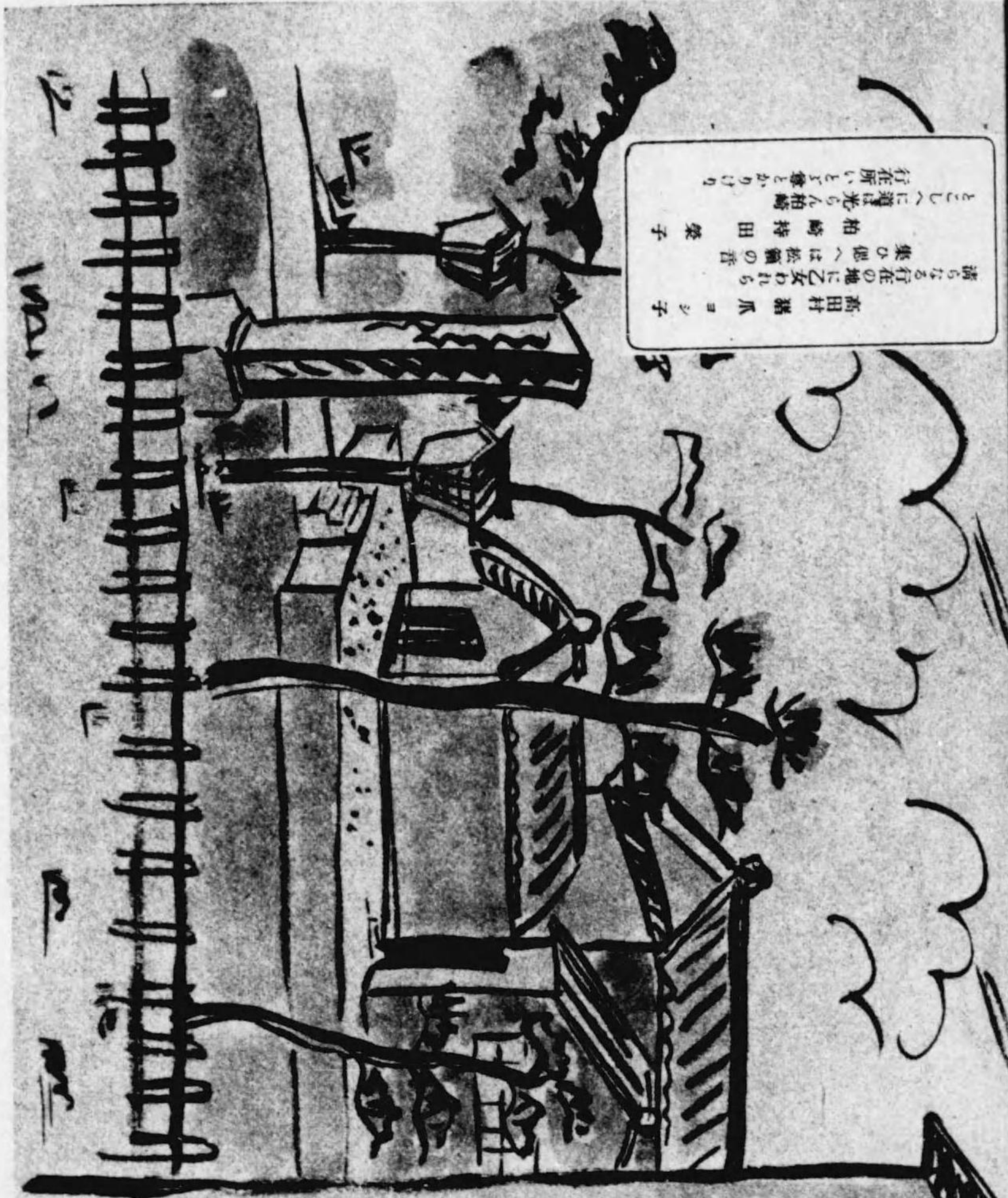
9.15 柏崎吉岡
 下偽家
 此集ニ当時、御杯所、礎石アリ

觀の心とるへなくして御東を
 民草泣きて今日は何の
 一葉の微塵地なれば

下偽家
 餘遺跡十休所



9.15 柏崎吉岡
 下偽家
 此集ニ当時、御杯所、礎石アリ

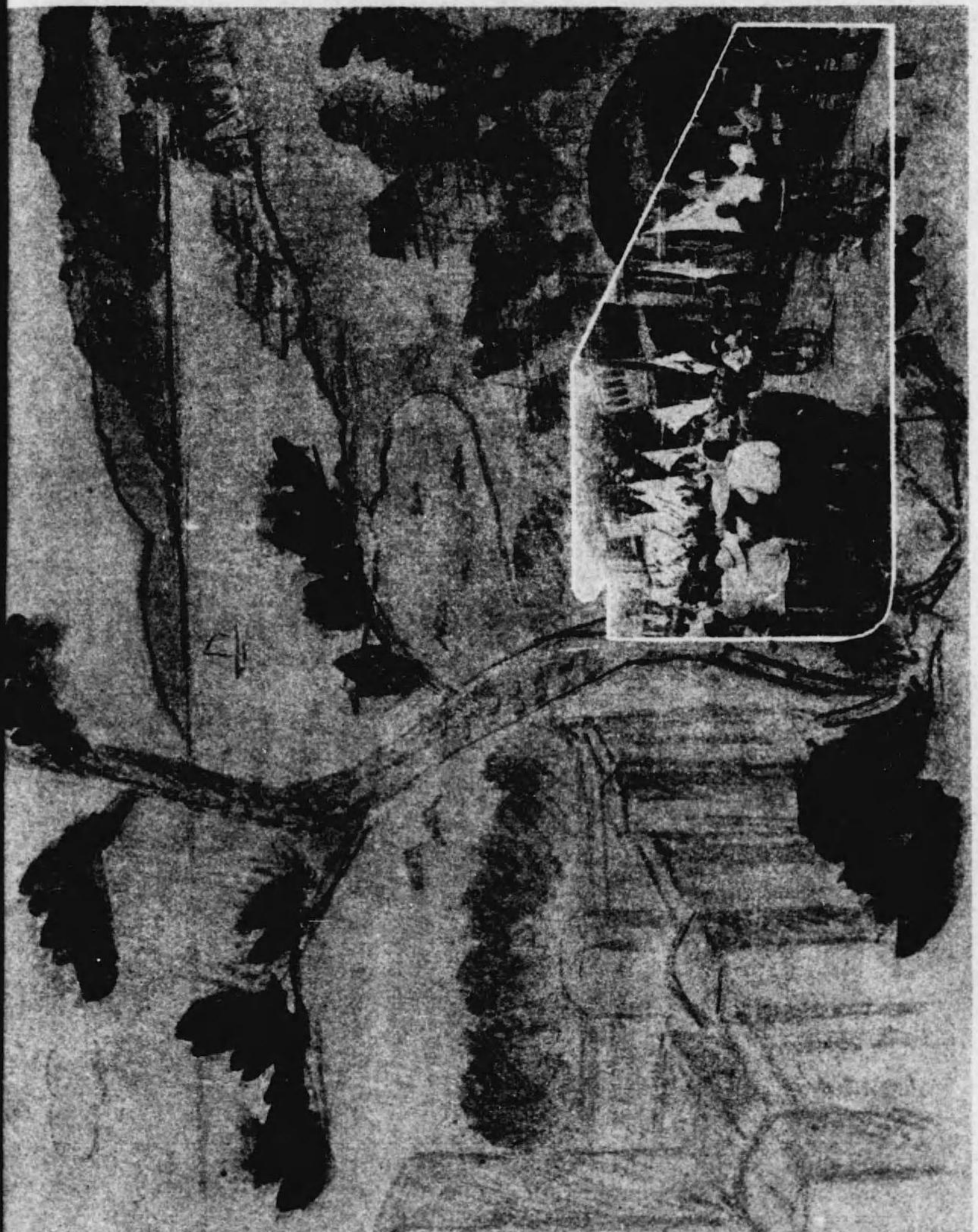


高田村 猪爪ノ子
 行在の地に之をわら
 集の思へは松風の音
 としへに道邊米の倉
 行在所にも夢とかりけり



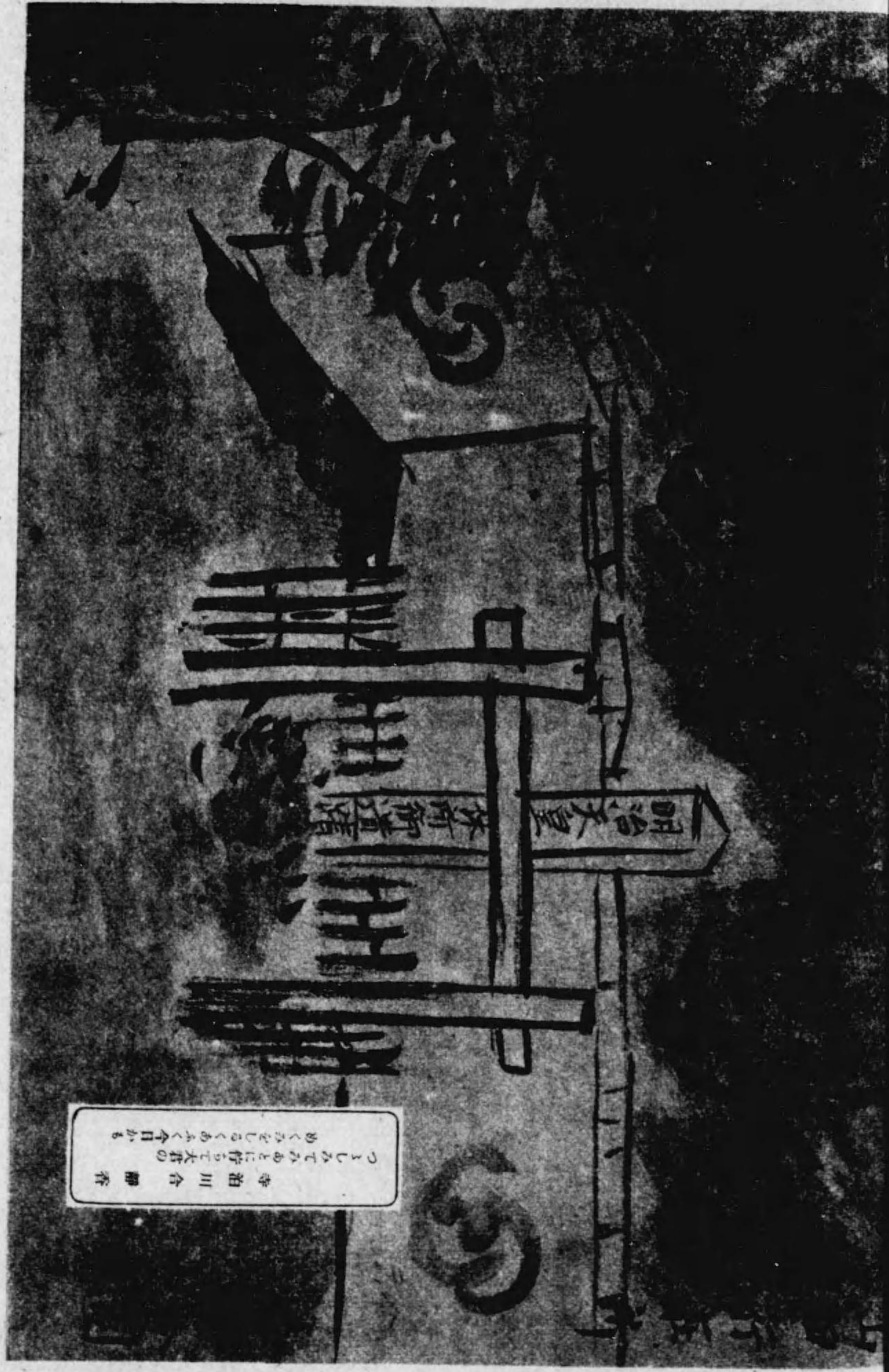
宮島櫻子
 柏崎女子青年團

九月十三日 柏崎行在行

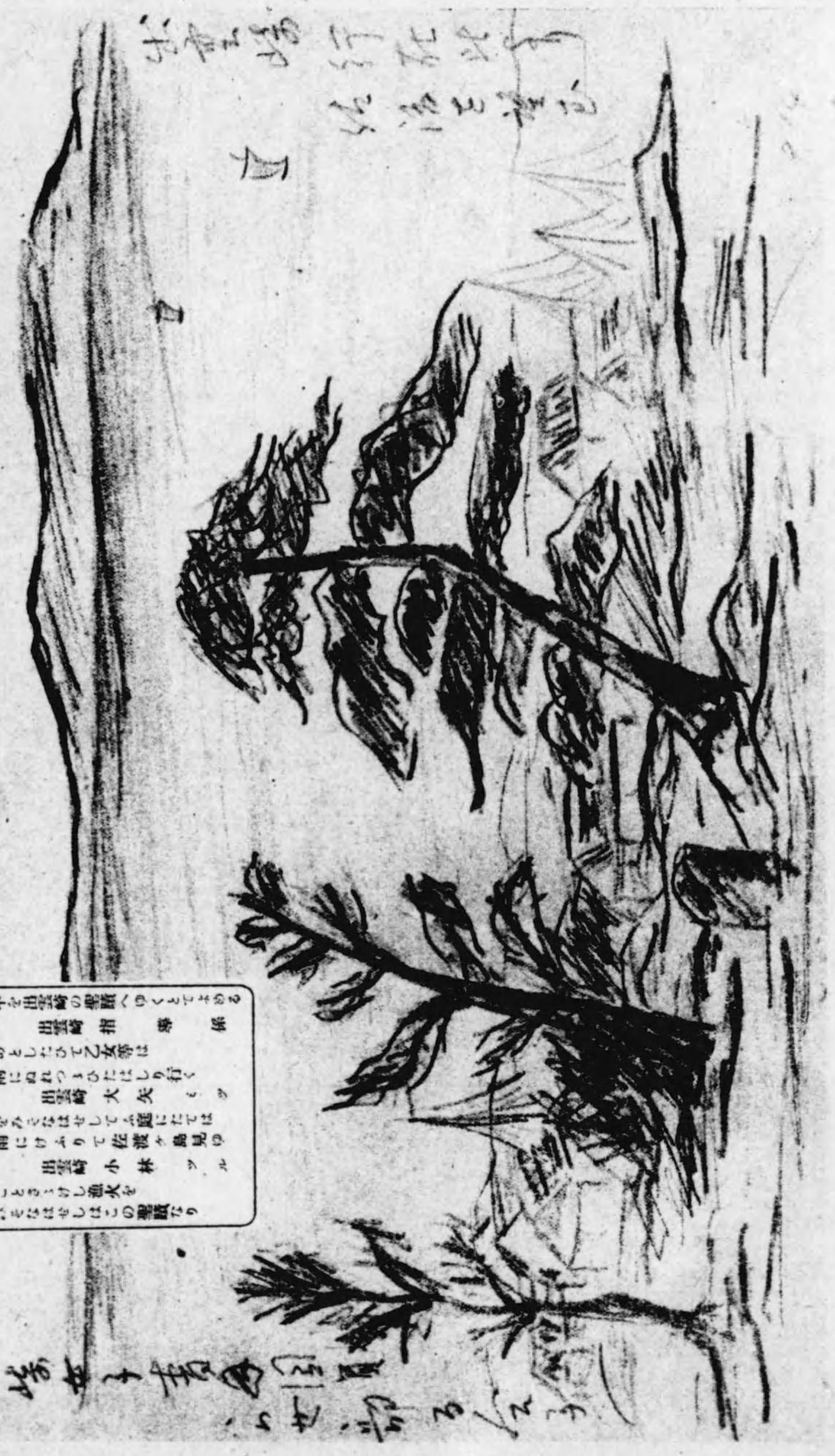


東之輪の御野立所
 柏崎中川
 とし
 崎波瀬の海士の明燈を
 きこし給へるかしこ所

九月十三日 御野立所
 柏崎女子青年團
 宮島櫻子



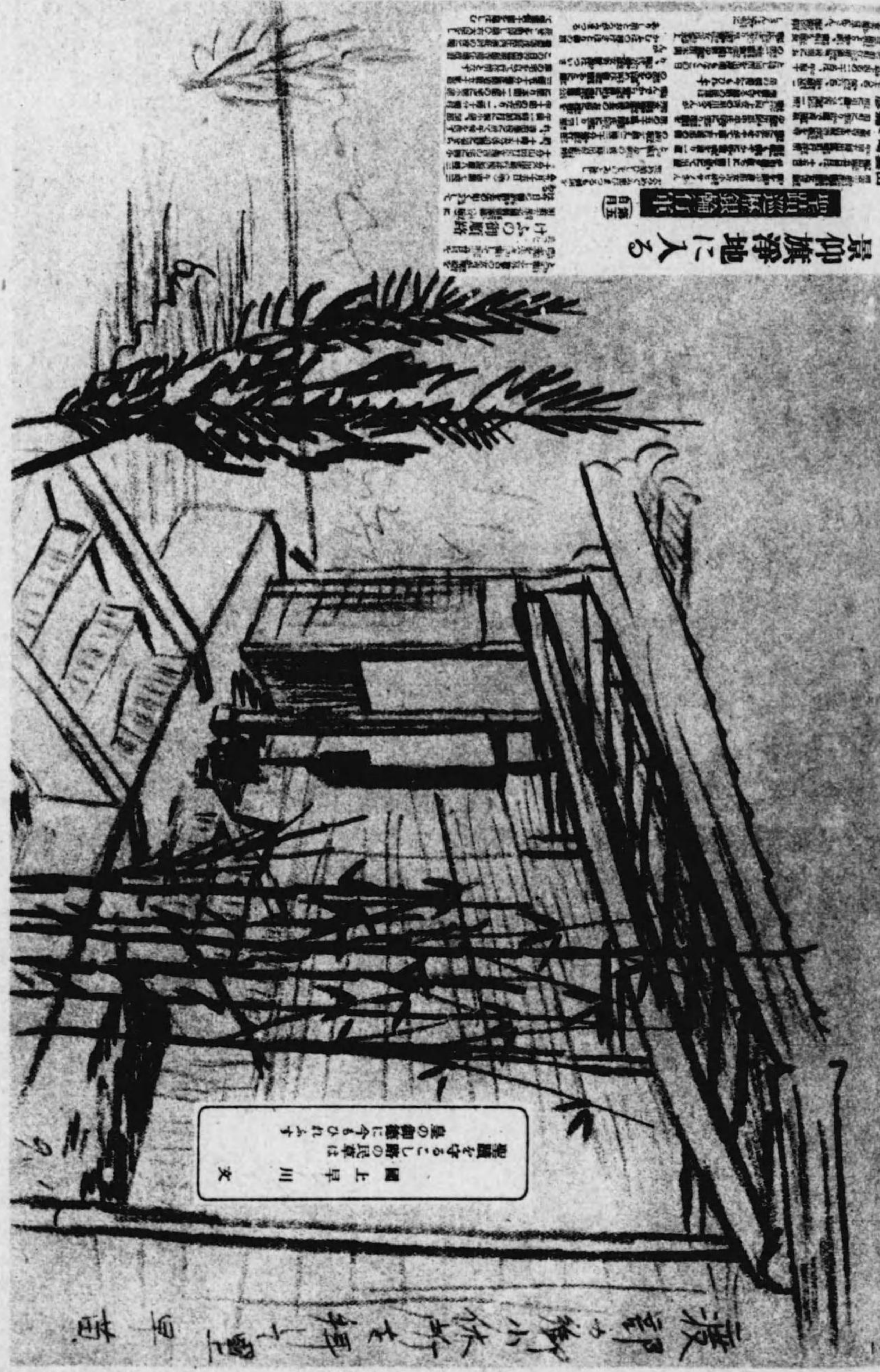
つしみてみてもとに竹と大木の
寺泊川合 柳 春
めくみせをじらくるみへくも



出雲崎 行 死 此 寺
佐 治 三 景 云

雨の中を出雲崎の景観へゆくとよめる
出雲崎 指 琴 係
羅摩のみもとにたひて乙女等は
雨にぬれつよひたはしり行く
出雲崎 大 矢 大 ッ
いさり水のみたはせしてふ庭にたては
雨にけふりて佐渡々島見ゆ
出雲崎 小 林 小 ッ
海人のまことさしぬ水を
心なほせしはこの瀬戸なり

出雲崎 女子 書 局 刊
此 部 各 子



早苗 川上早苗の御殿に今もひんす

渡部小休所を早苗

景仰旗淨地に入る
 早苗川上早苗の御殿に今もひんす
 早苗川上早苗の御殿に今もひんす
 早苗川上早苗の御殿に今もひんす



海岸をひた走り
 出雲崎から寺泊へ

麻呂頭
 出雲崎から寺泊へ
 海岸をひた走り
 出雲崎から寺泊へ

新在行泊

寺泊川合
 明治天皇行在所とあらし
 石ふたごて秋のしなく

日合圖



竹野町原水休井
上原慶子

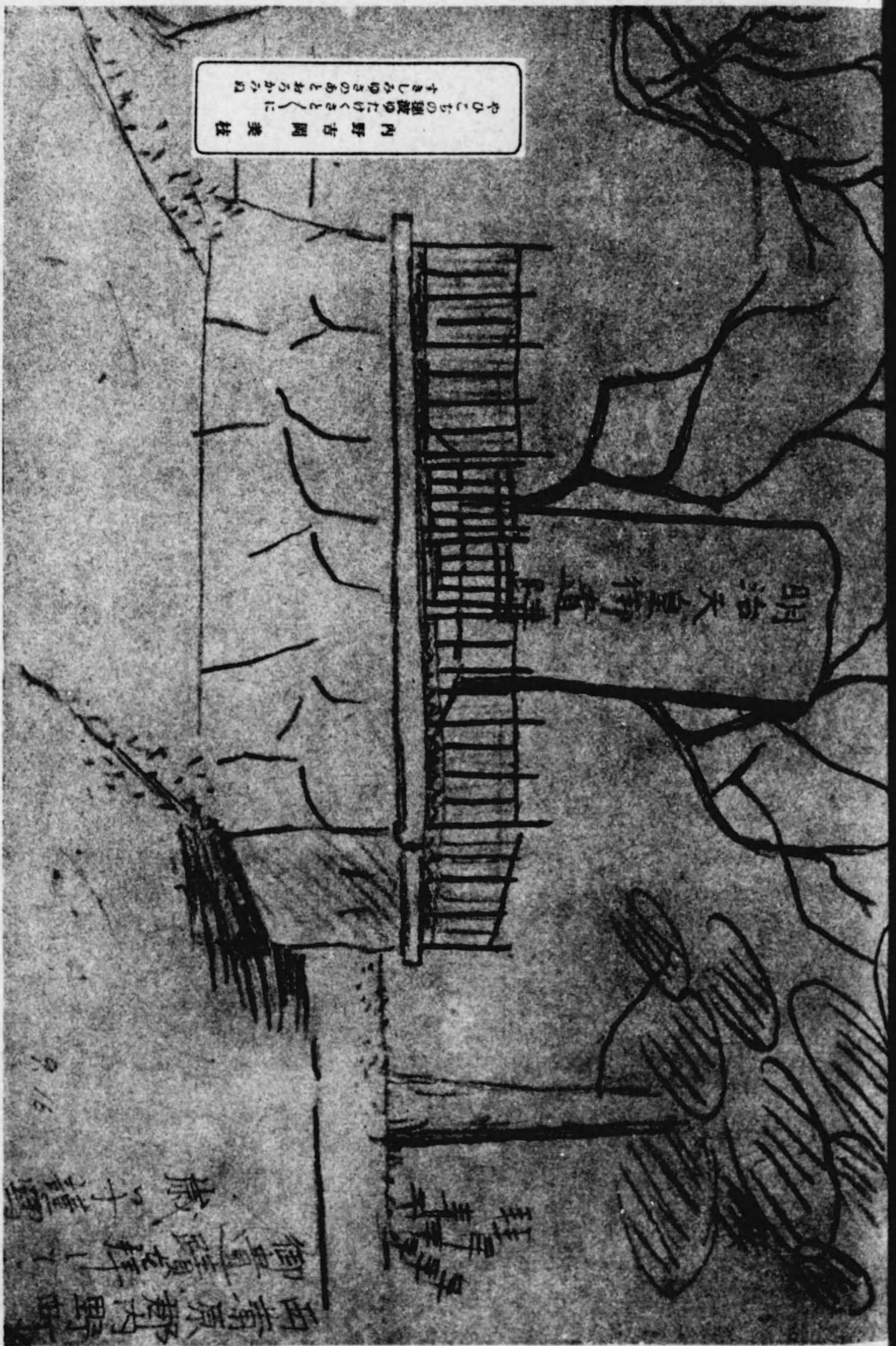
秋くさの香ゆたかた御幸路を
築ひて徳と御風の跡
峰岡北 鹿見 島
御車とくまの結ひし大君の
かあとあふきて深くはる



岩宮
岩宮西
有坂之成

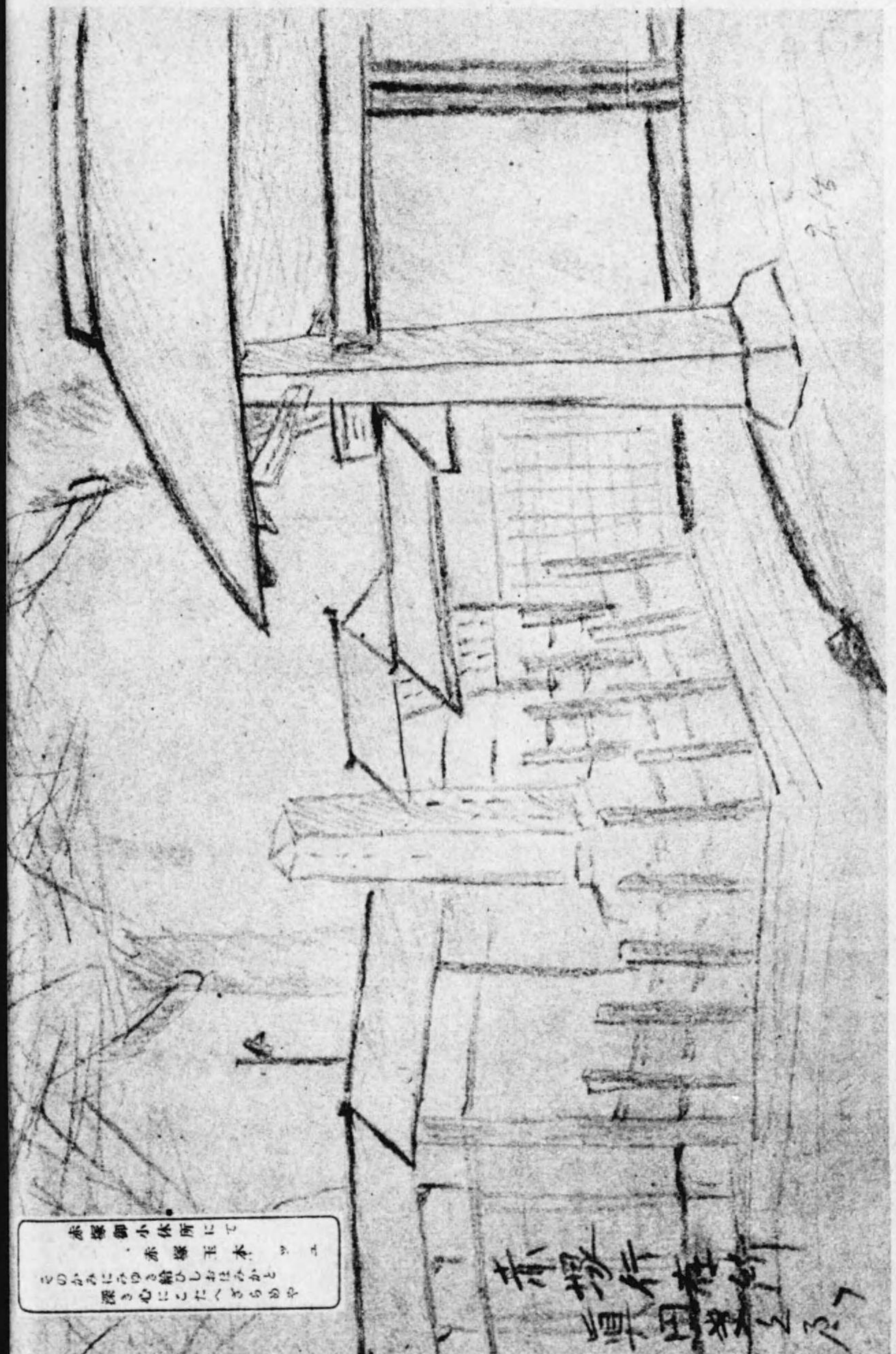
9.16

岩室東 小川 すみ
あさばれの黄金波うつ彌彦路に
行幸徳ばんいやおこそかに
岩室西 和田 文江
み山へのこけのむすてふ岩室に
聖のみ徳仰くかしこま
岩室東 鷲澤 レイ子
空前の御代の直貫背負立し
御幸を徳ふ乙女われらば



やまごとの強波のたけくまに
 野古岡 美柱
 さましあゆまのあととわろかたに

西宮原都内野
 御遺蹟を拜し
 歳十蓮
 9/16



木玉水
 赤塚小
 赤塚小

赤塚行在
 眞田

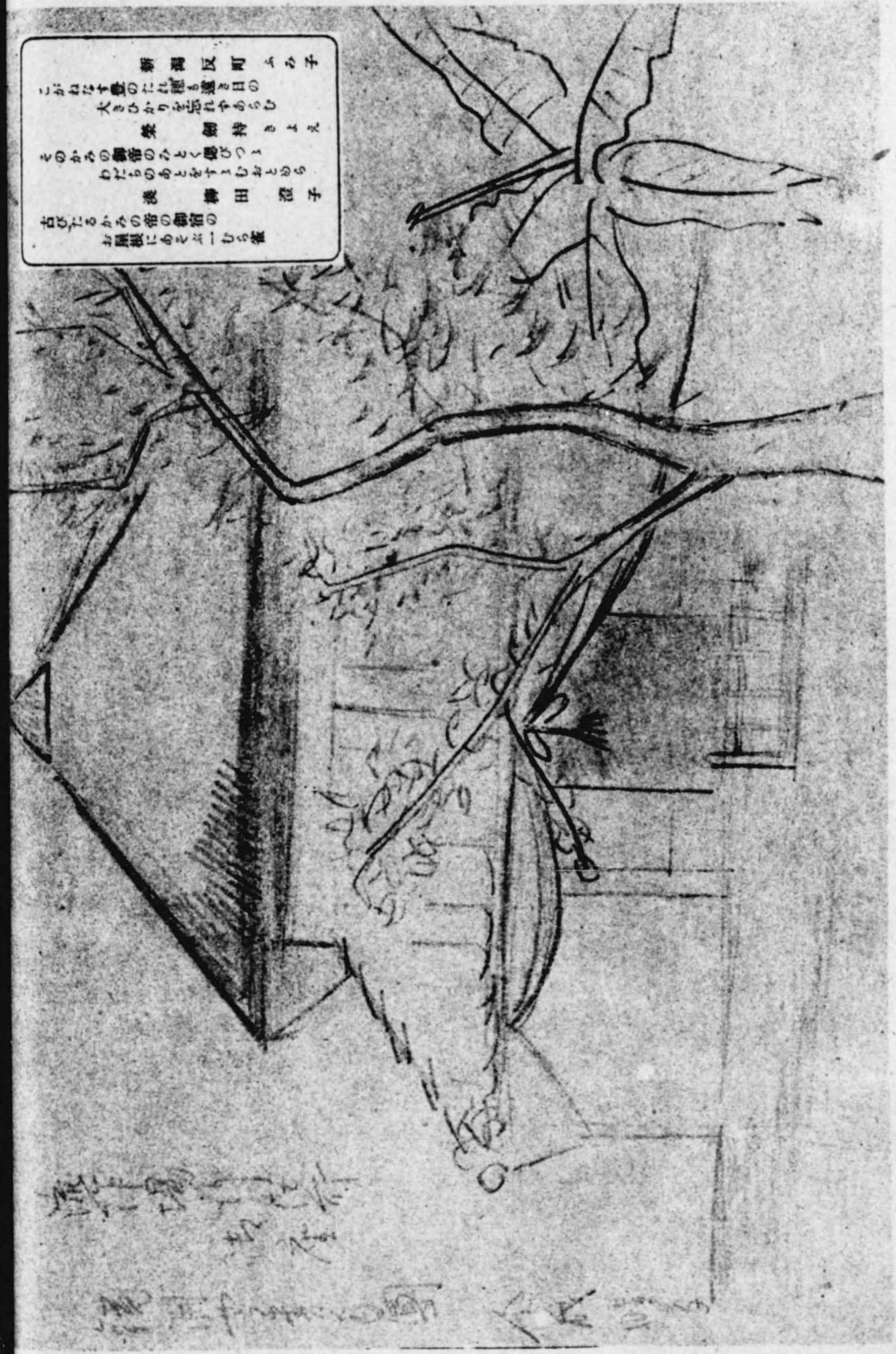
2/15



新御反町ふみ子
 かねたす意のたれ種も遠き日の
 大きひかりを忘れずめらむ
 榮 御持きよえ
 そのかみの御帝のみとく徳びつと
 わだちのあしをすむおとめら
 洗 御田 忍 子
 古びたるかみの帝の御宿の
 お願にもとよむら 養

鏡川公園

今成たつる



新御反町ふみ子
 かねたす意のたれ種も遠き日の
 大きひかりを忘れずめらむ
 榮 御持きよえ
 そのかみの御帝のみとく徳びつと
 わだちのあしをすむおとめら
 洗 御田 忍 子
 古びたるかみの帝の御宿の
 お願にもとよむら 養

新御反町ふみ子
 かねたす意のたれ種も遠き日の
 大きひかりを忘れずめらむ

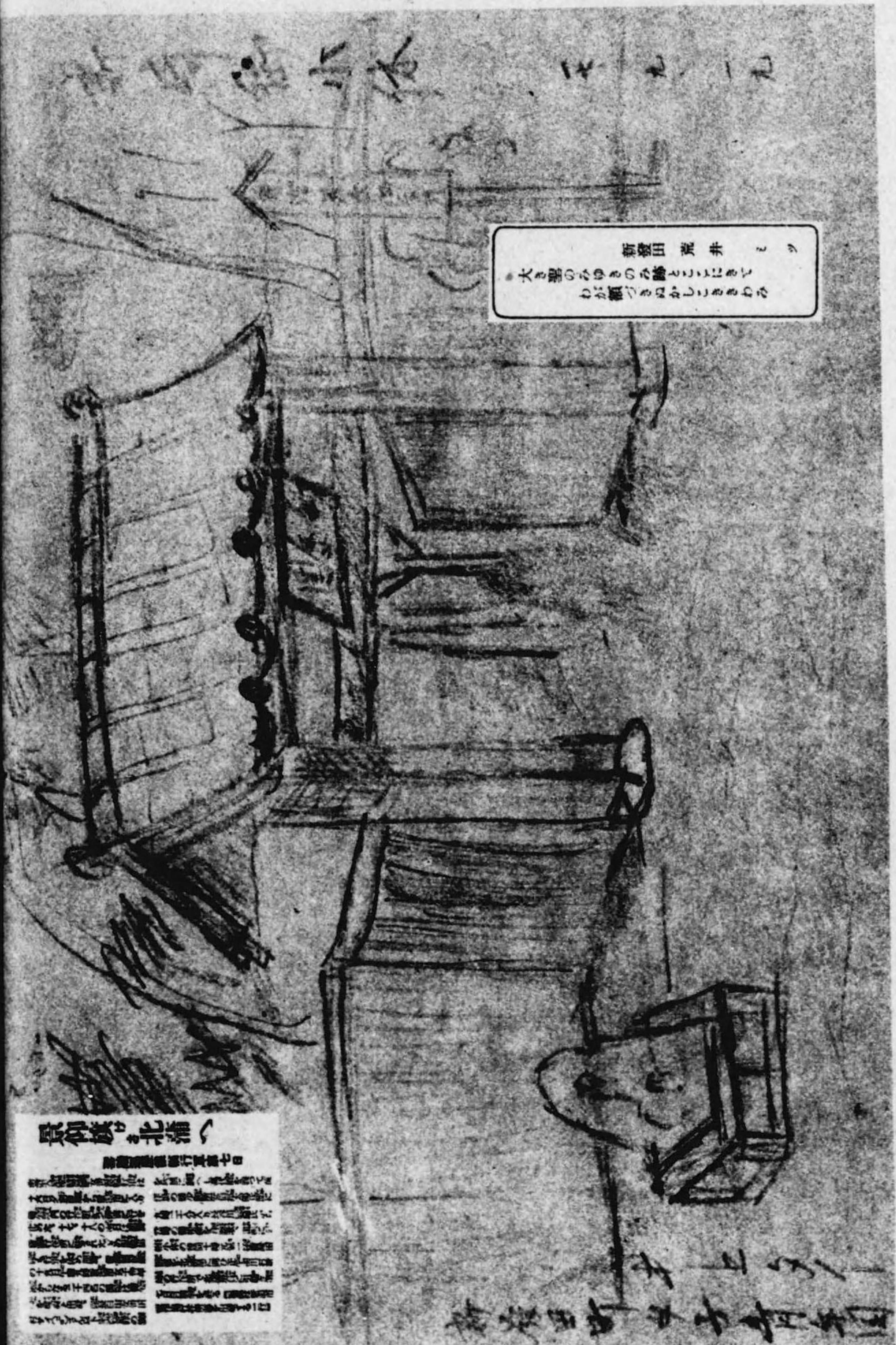
鏡川公園
 今成たつる



新發田 荒井 ミツ
越路いよ満つる無稻の秋にして
いやさやけかりみゆきしのばゆ

女巡路

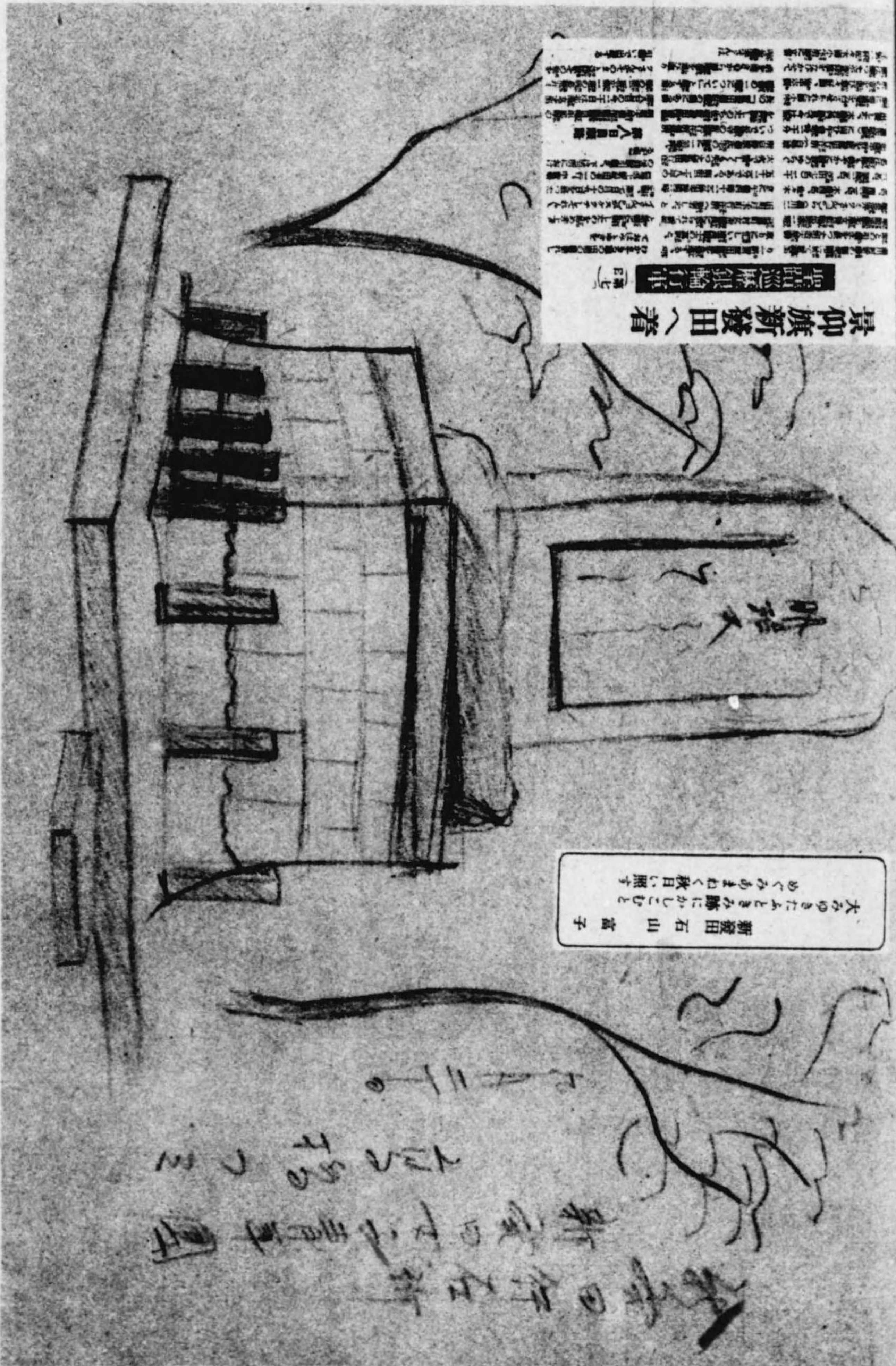
新發田女子青年會



新發田 荒井 ミツ
大空のゆきのみ跡とこころにきて
わが願ふはかしのあはれ

景仰の北窓
新發田女子青年會

新發田女子青年會



景仰族新築田へ着
 御稲成に和む香くはしき空
 御稲成に和む香くはしき空

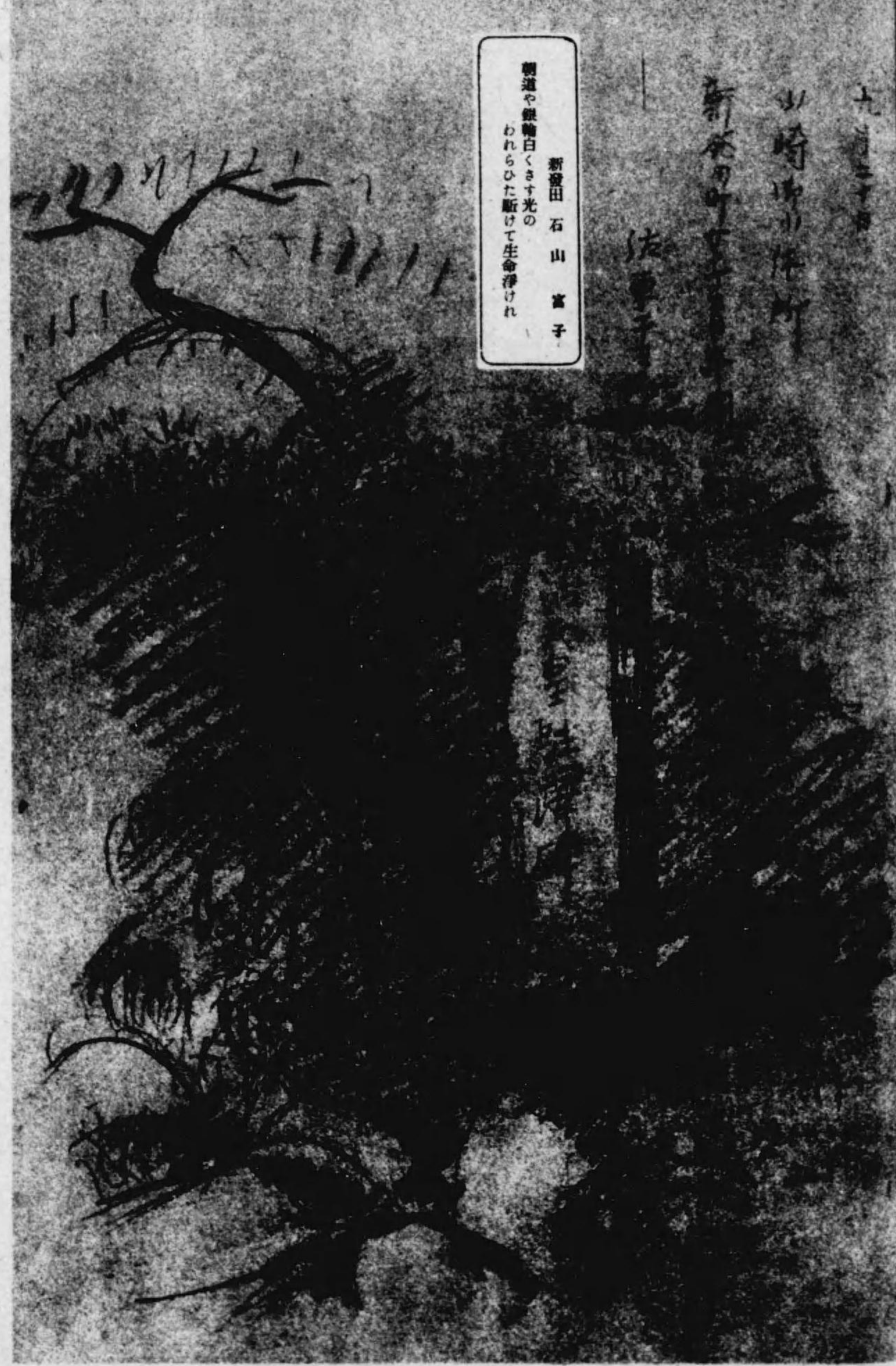
大分のたよき公館にかしごと
 めぐのみまねく秋日に照す
 新築田 石山 富子

新築田の行住
 新築田の行住
 新築田の行住



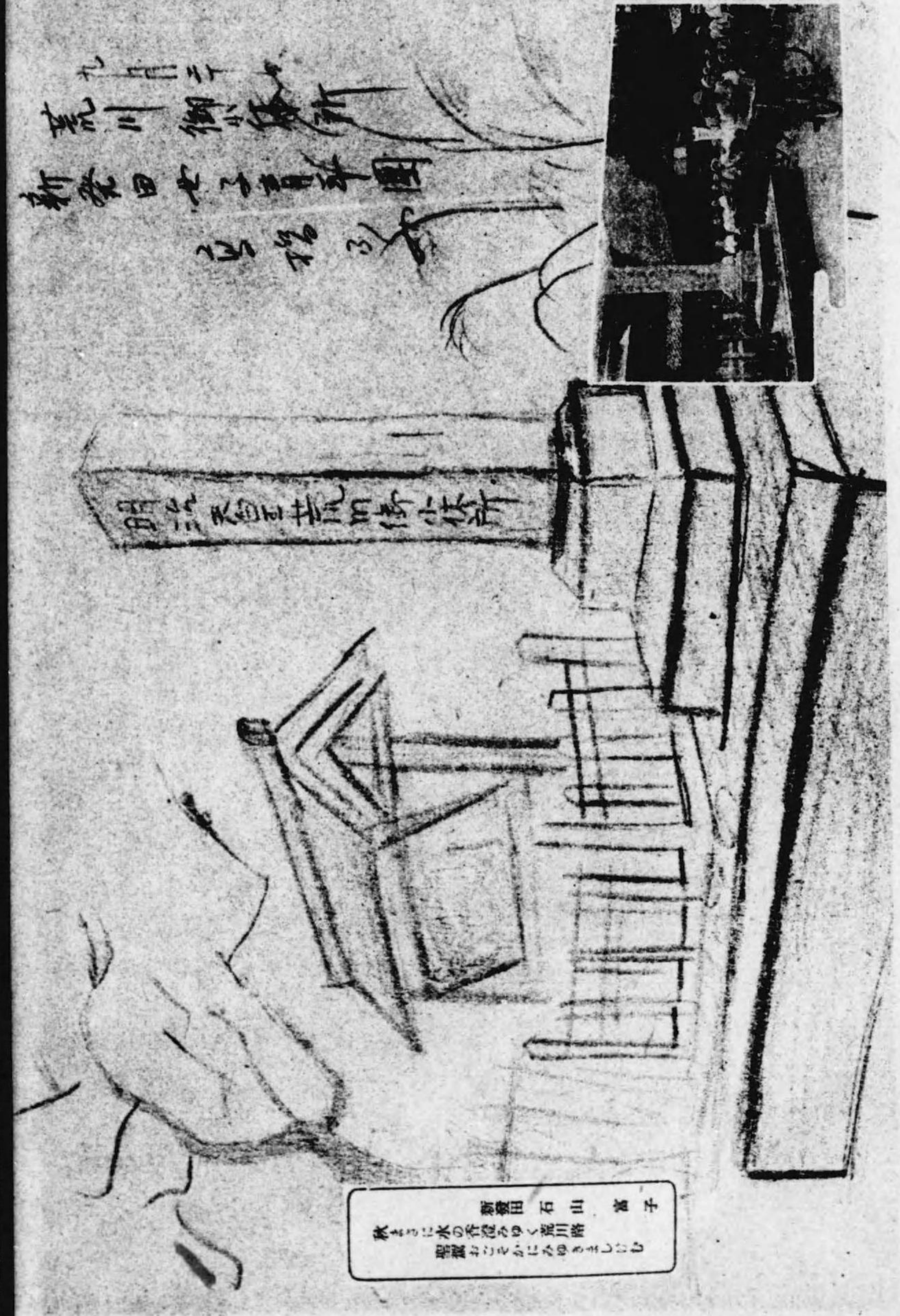
佐々木高山ミツエ
 わがもる越の田稻の穂垂れして
 おほみゆきを拜みしぞおもふ
 佐々木御小休所にて
 狼橋 齋藤 則子
 み跡さ 醜わが心澄みにけり
 御稲成に和む香くはしき空

佐々木御休所にて
 佐々木女子青蓮園 甲島七口
 九月十九日



新登田 石山 富子
 朝暈や銀輪白くます光の
 われらひた断けて生命淨けれ

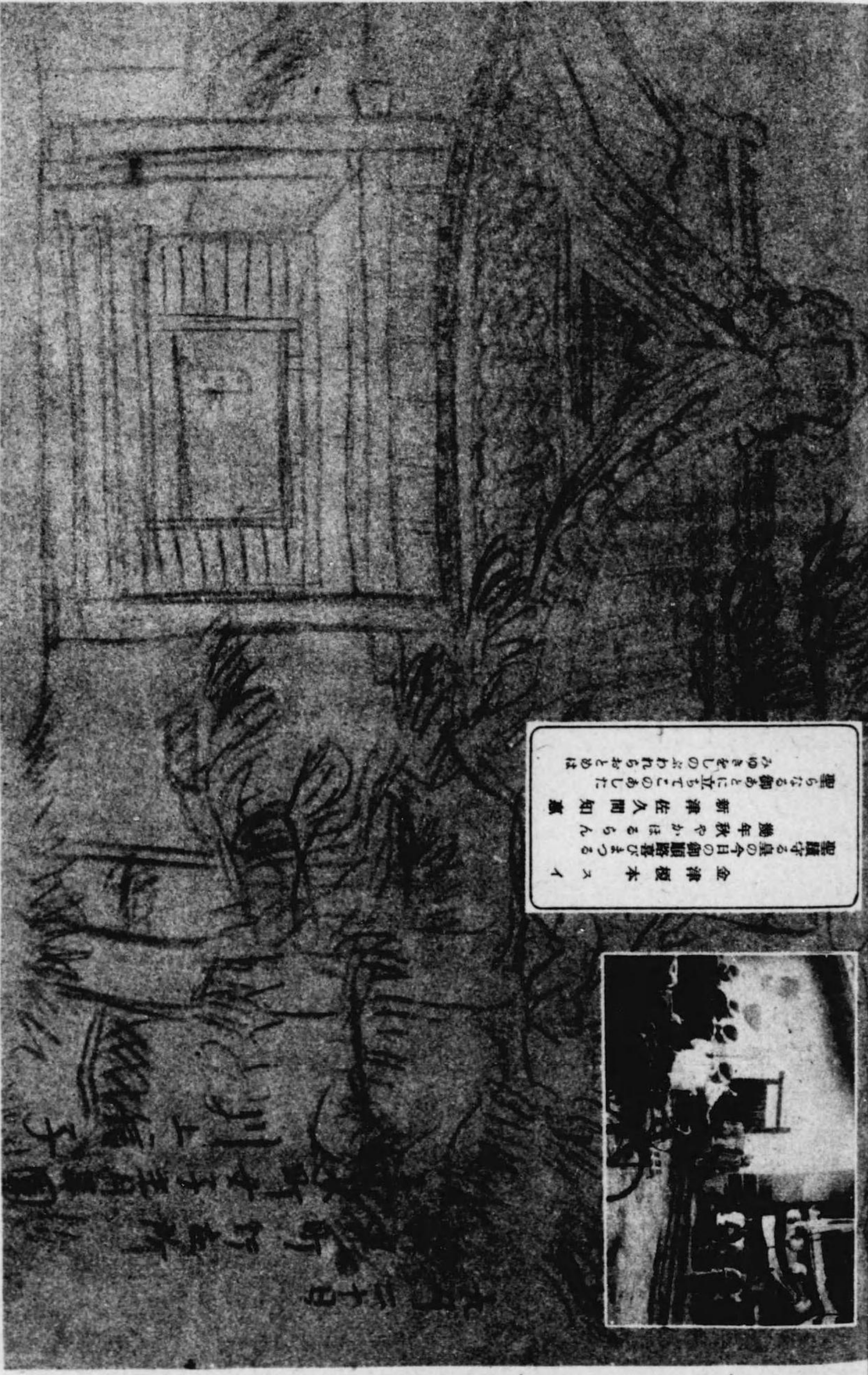
山崎清太郎
 新登田町



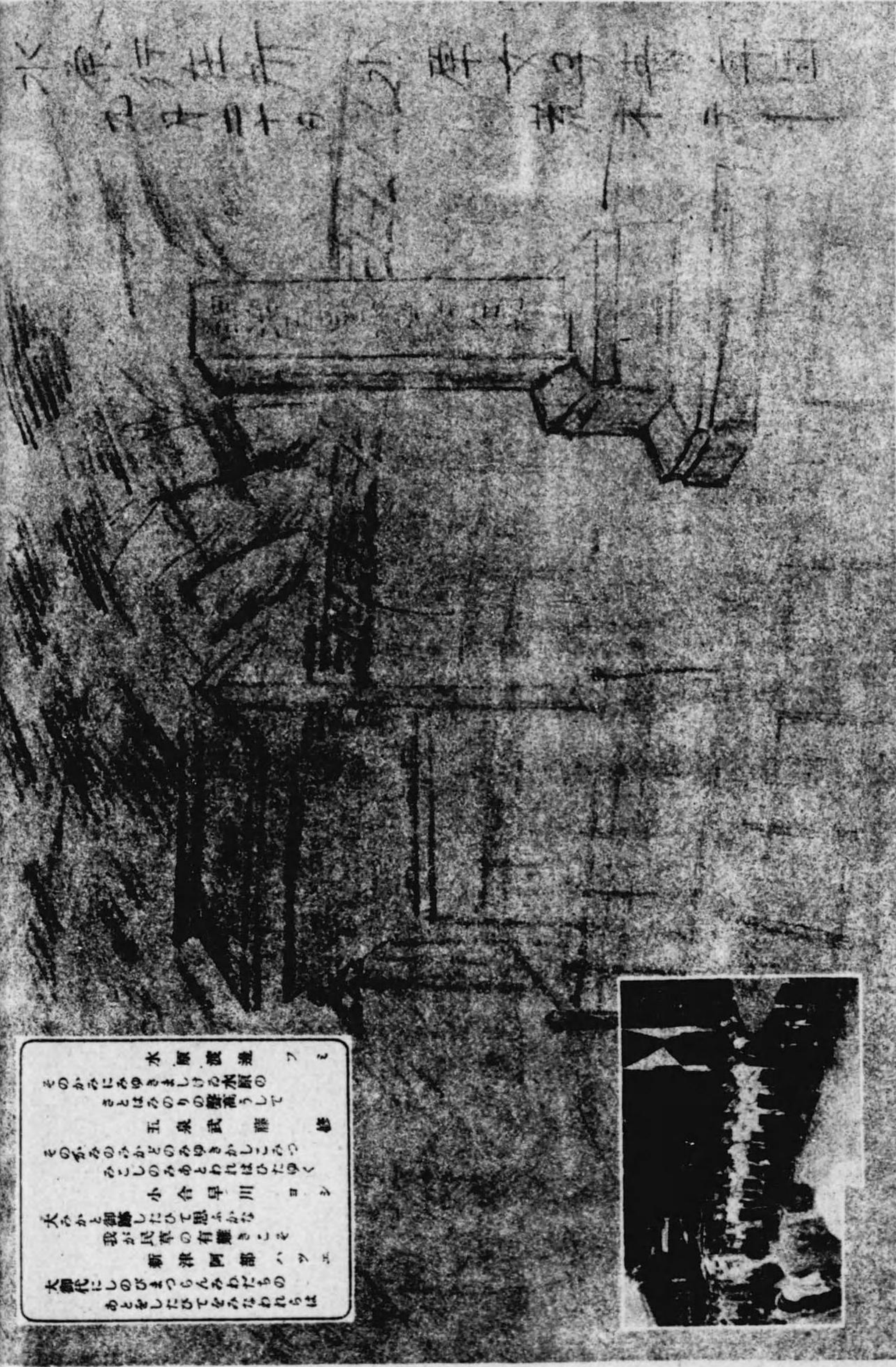
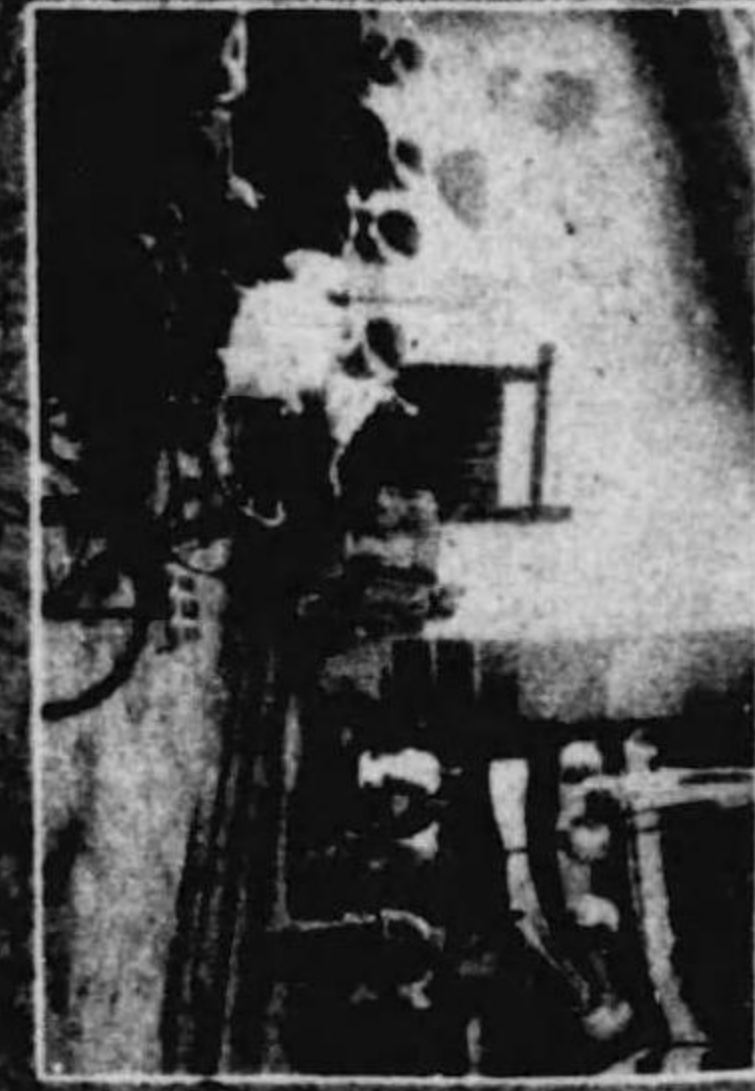
九月廿三日
 荒川御休所
 新登田七子書本園
 石山 富子

明正天皇御代御休所

新登田 石山 富子
 秋まことに水の香気多ゆく荒川階
 聖蹟はごまかにみゆきましむ



聖なる御あとに立ちてこのあした
 心ゆきをしのぶわれらおとめは
 聖蹟守る星の今日の御願啓きまつる
 幾年秋やかほららん
 新津佐久間知蔵
 金津榎本 スイ



水原渡邊 文子 母
 小早川 早合 小
 武蔵 泉五 小
 新津 阿部 新
 大御代 しのびまつらんみわだもの
 あをしのびてをみなわれらは

水原渡邊 フミ
 そのかみにみゆきましけら水原の
 さとはみりの御願うして
 武蔵 泉五 小
 そのかみかどのみゆきかしくこみつ
 みしこのあつわれはひたゆく
 小早川 早合 小
 大御代にひびきおほかな
 我が民草の有難きこそ
 新津 阿部 新
 大御代にしのびまつらんみわだもの
 あをしのびてをみなわれらは



新津波瀬
 越後路の津波ゆたけささとへ
 すさし昔の御幸したひぬ
 小須戸 青木のり子
 御せいとくしのびまらしおとめらは
 とまのみことにまことささけん

御幸の山路終ら
 新津波瀬
 御幸の山路終ら
 新津波瀬
 御幸の山路終ら
 新津波瀬

新津小野 ハナ
 昔ひしていく年すきしみ代までも
 君か御聖蹟を仰ぐ民草
 分田河原にて詠める
 新津奥村 セツ
 名も知らぬ草も小石もよるこびに
 あふるゝ如し分田の河原

明治天皇駐蹕碑

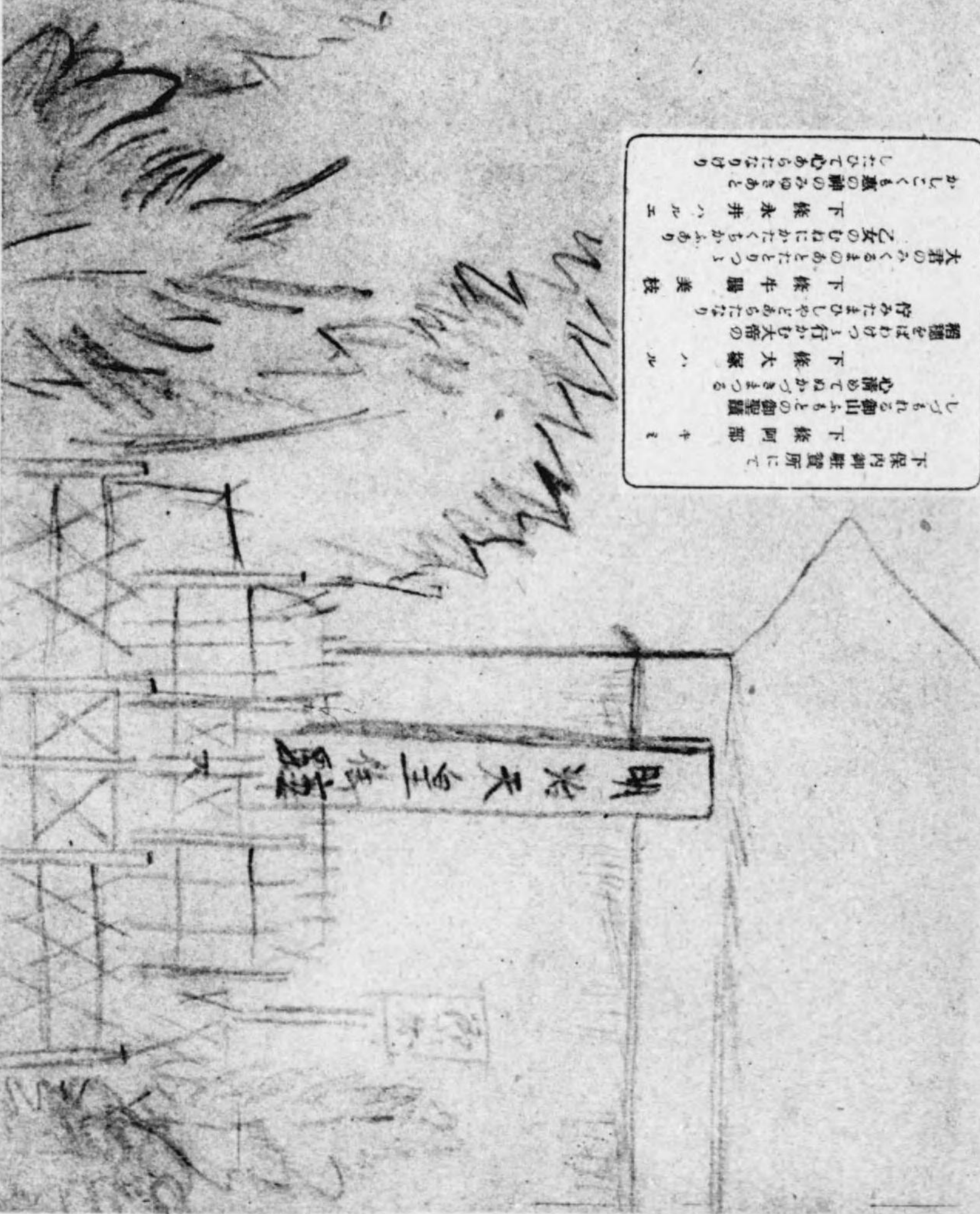
友木のり子

村松 浅間 フミ
 ひろなる越の國原銀輪に
 畏きみあとおろがみてゆく
 矢代田 御小休所
 村松 榎橋 アイ
 自轉車を降りておろかひ矢代田の
 御聖蹟尊く相はみのれり

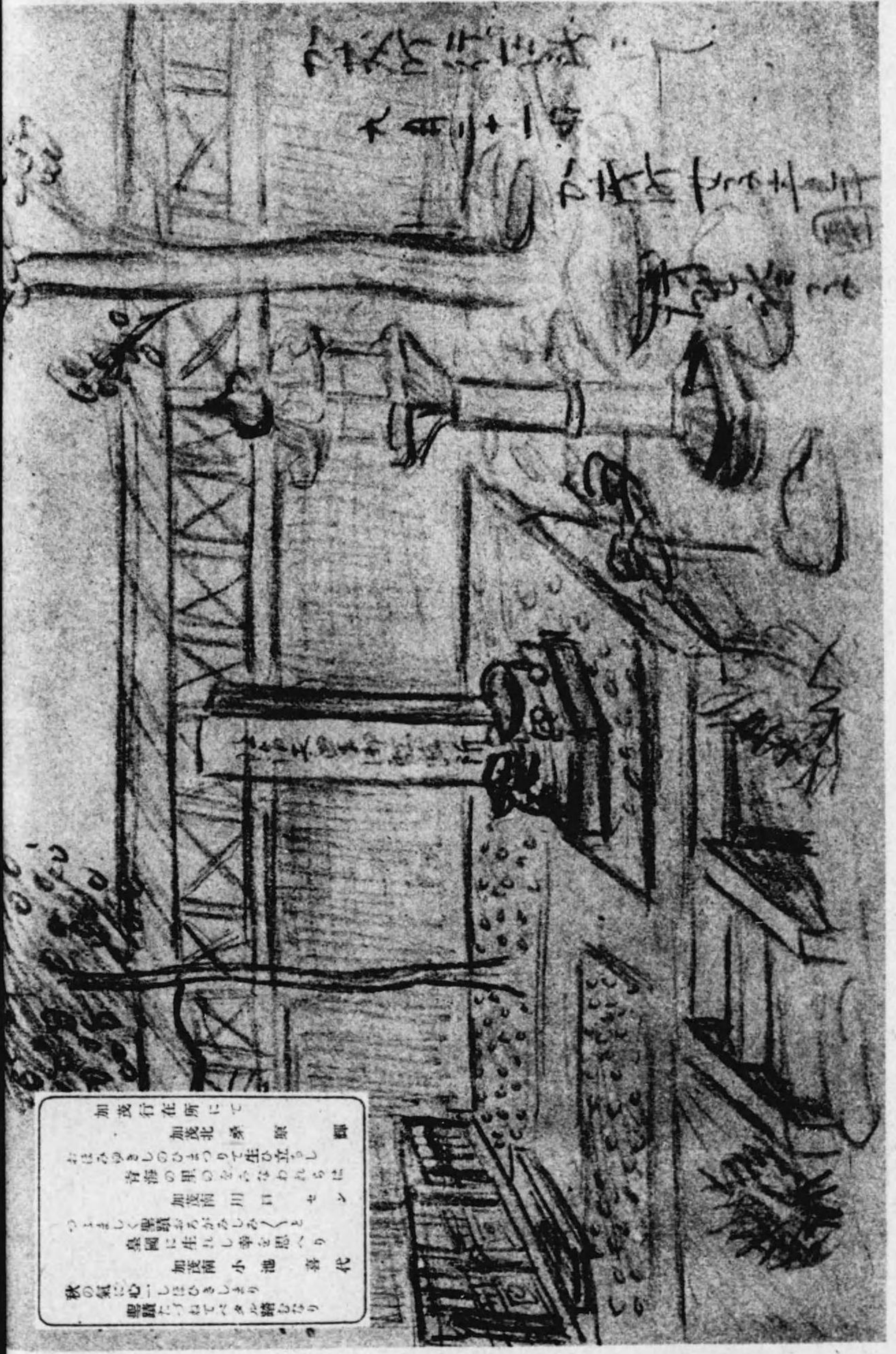
村松 伊丹 シナ
 御聖恩を徳びて友とたづねゆく
 越路の秋は津波ゆたけし
 羽生田の里にて
 村松 浅間 フミ
 越路なる羽生田の里に大君の
 尊きみあとおろがみまつらん
 田上 御小休所にて
 田上 小式澤 きせ
 蒲原の野邊に行幸の跡たよと
 大御心をかしこみまつる

金風一路三條へ
 聖蹟巡歴銀輪行年
 第九
 御幸の山路終ら
 新津波瀬
 御幸の山路終ら
 新津波瀬
 御幸の山路終ら
 新津波瀬

南満原郡不備寺花園
 下保内御駐蹕之跡
 一七、四二、三、大塚



下保内御駐蹕所にて
 下保阿部 十と
 下保大塚 八ル
 心算してぬかづまつる
 下保大塚 八ル
 頼朝をばひつゝ、行かむ大塚の
 侍たたまひしやどあらたり
 下保牛馬 美枝
 大塚のくまのあたとつゝ
 乙女のむねにかたくちかあり
 下保水井 八ル
 かしこくも、蕙の神のみゆきあと
 しにひて心あらたりけり



加茂行在所にて
 九月十一日

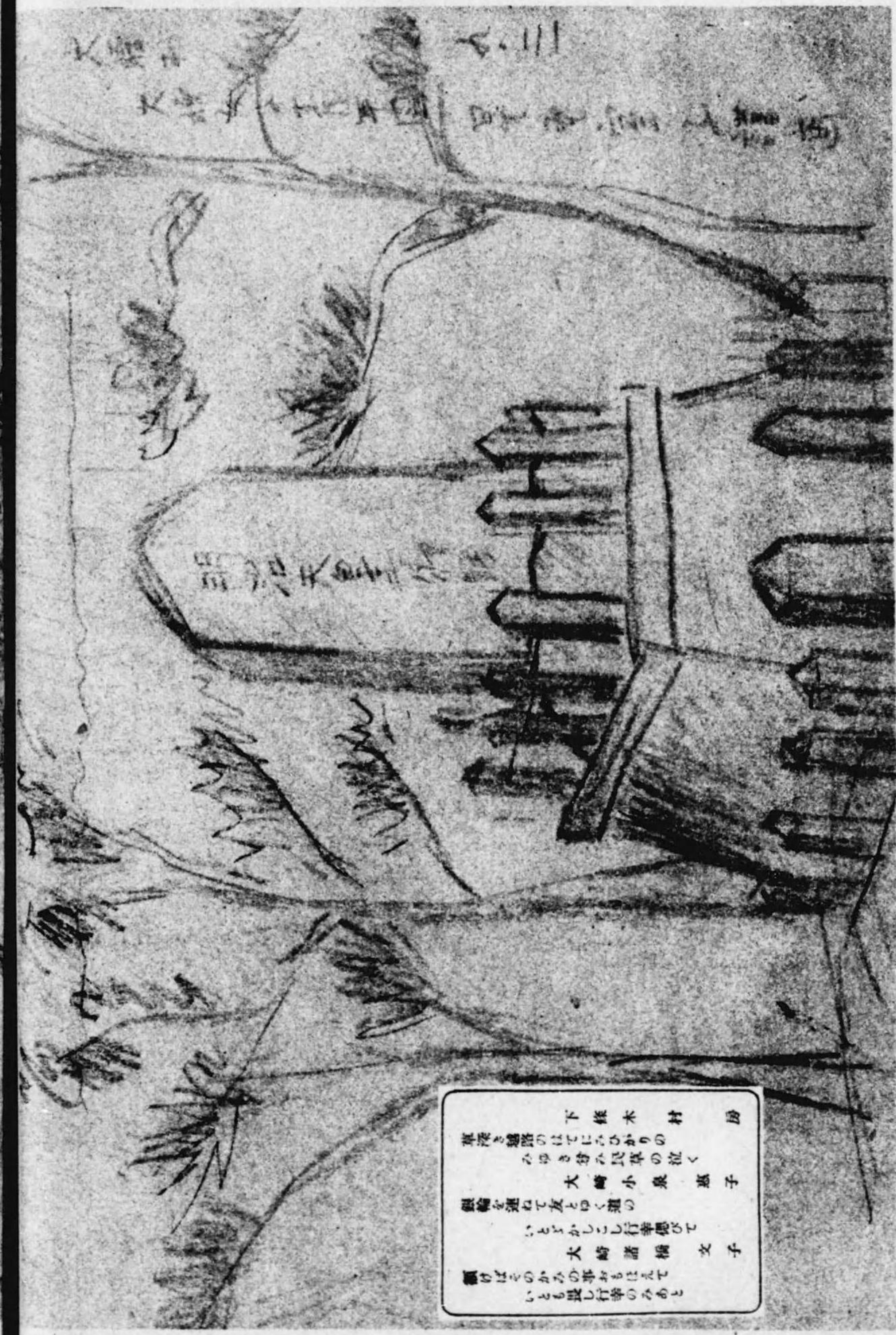
加茂行在所にて
 加茂北條 源 郎
 おはひまきしのひまつりて生心立らし
 青海の里のをみなわれらに
 加茂南川 口 キン
 つましく聖蹟おみかみひくこと
 皇國に生れし幸を思へり
 加茂南小池 喜代
 秋の氣に心しはひまきしより
 聖蹟たづねてたまはるる



感激に浸りつゝ
 中越の野を快走

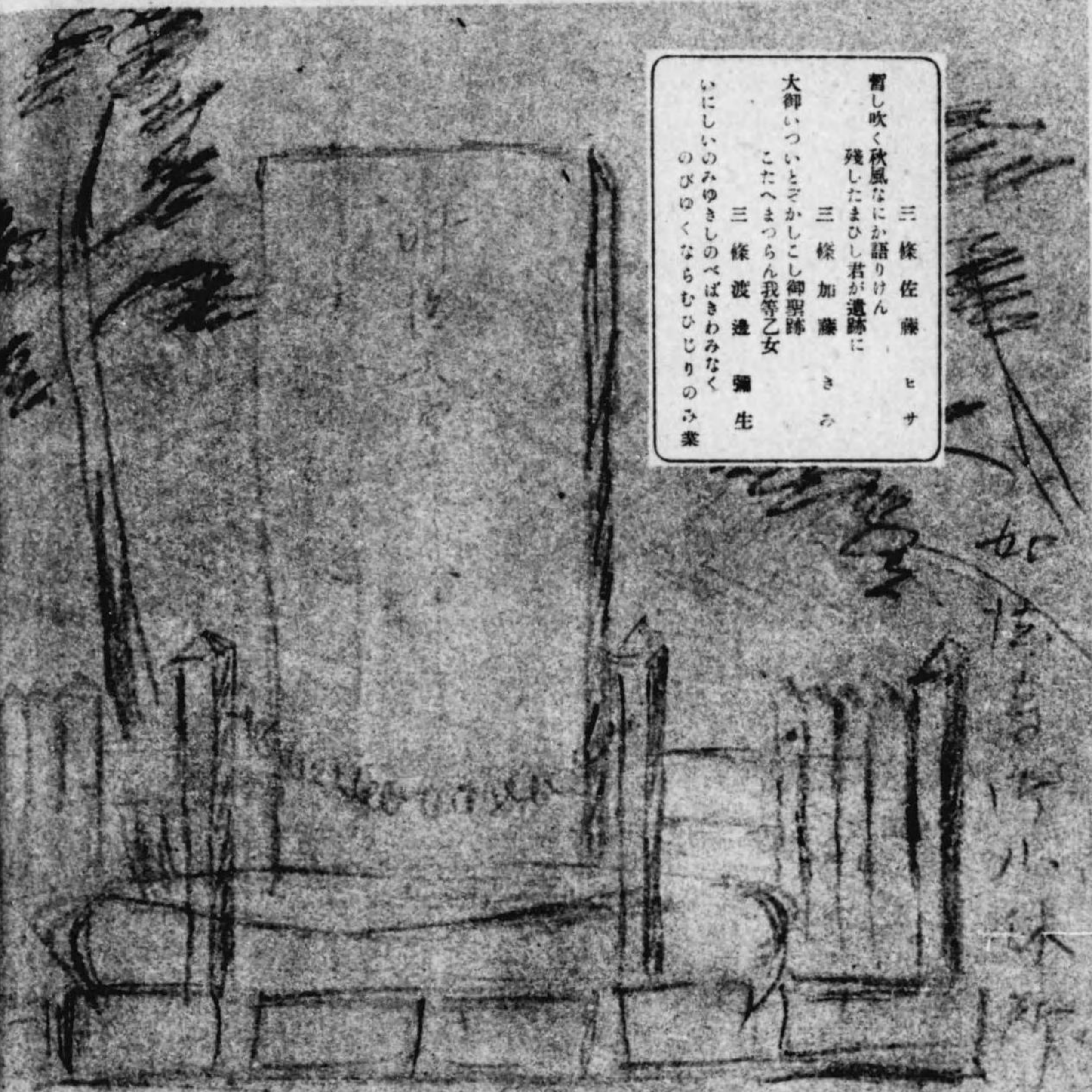
三條杉井 静江
 三條杉井 静江
 三條杉井 静江

新なる陽光は四方に輝きて
 聖殿長し御殿の秋
 三條杉井 静江



下條木村 房
 草深き道のはてにひかりの
 みゆきみ民草の泣く
 大崎小泉 惠子
 銀輪を漕いで友よらく道の
 いとかしこし行華優びて
 大崎諸橋 文子
 飄けばそのかみの事おもはえて
 いと長し行華のみあと

三條 佐藤 ヒサ
 習し吹く秋風なにか語りけん
 残したまひし君が遺跡に
 三條 加藤 きみ
 大御いついとまかしし御聖跡
 こたへまづらん我等乙女
 三條 波邊 彌生
 いにしひのみゆきしのべばきわみなく
 のびゆくならむじりのひ業



如
 三
 九
 三
 馬
 馬
 馬

颯爽と三條市到着

三條市に到着す。三條市は、大正十一年十月十日、颯爽と三條市到着。三條市は、大正十一年十月十日、颯爽と三條市到着。三條市は、大正十一年十月十日、颯爽と三條市到着。

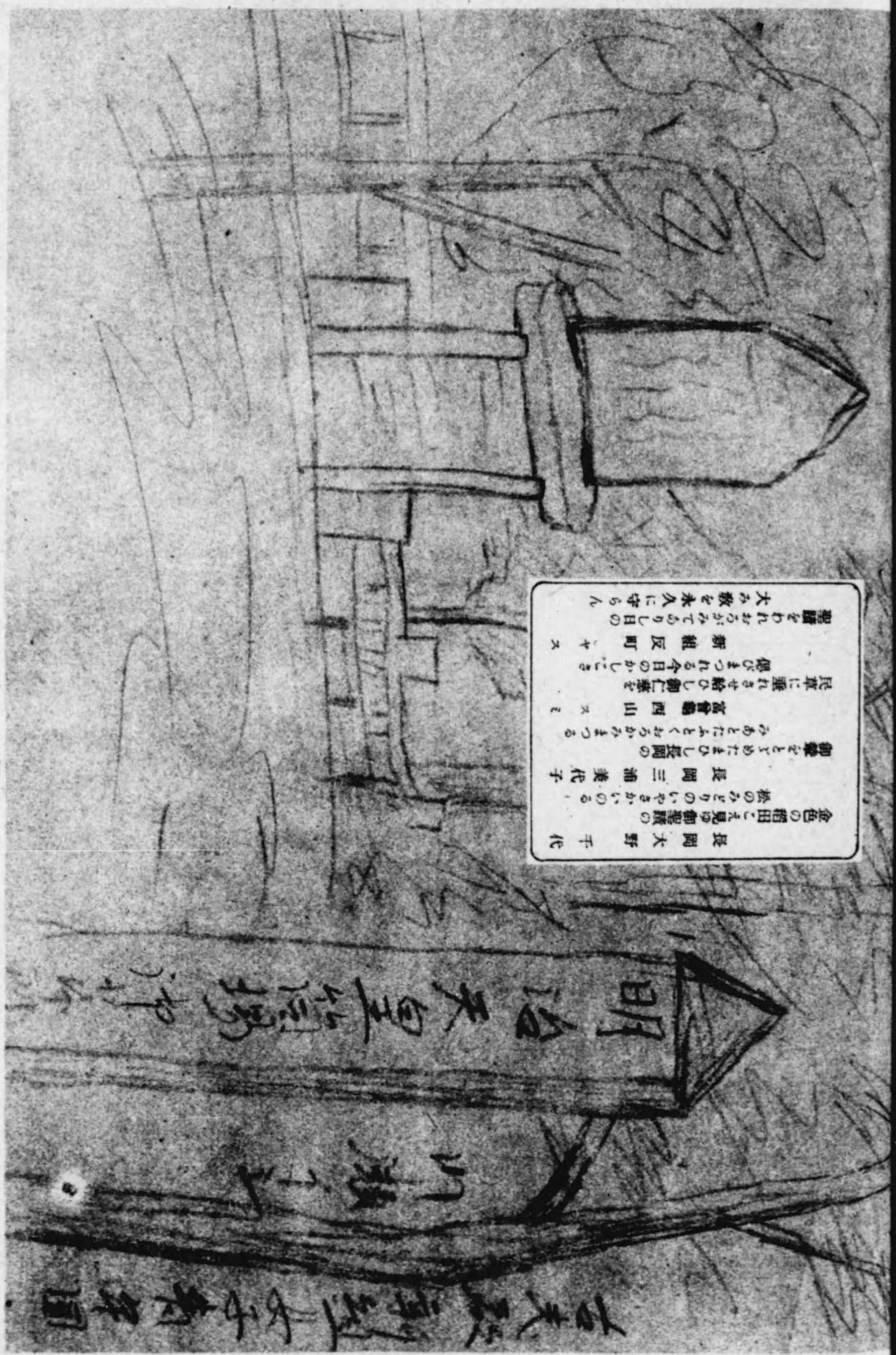
颯爽金風を切る

三條 鈴木 百合子
 高光る君の御機成をうけつきて
 とはに愛えとおろかみ祈る
 三條 松永 ありつ
 みくるまをとどめたまひしのかみの
 庭の梢は今もしげれり
 三條 杉井 静江
 大君の心うれしく伏しをかむ
 大面の寺に秋霞たつ

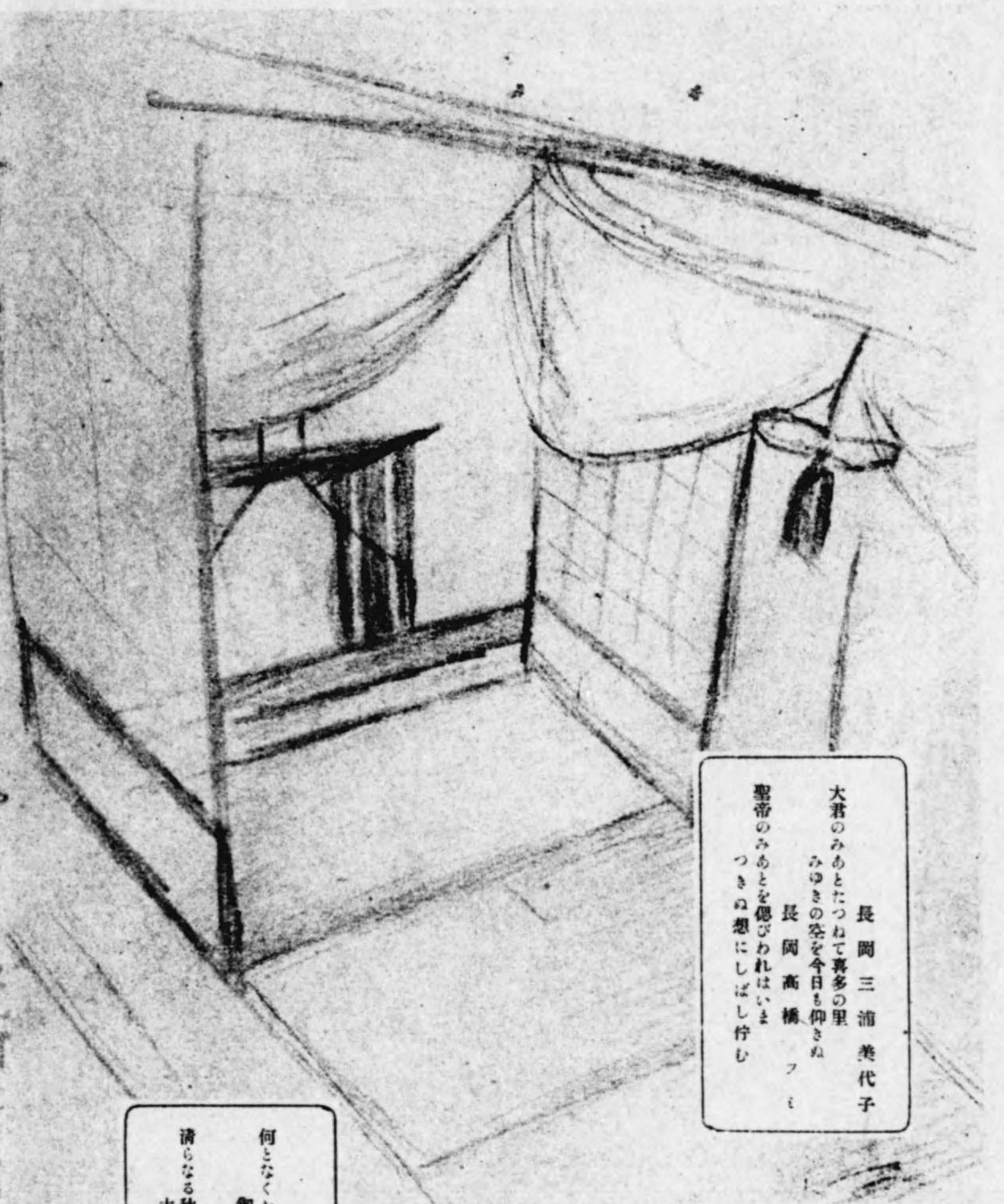
三條 鈴木 百合子
 高光る君の御機成をうけつきて
 とはに愛えとおろかみ祈る
 三條 松永 ありつ
 みくるまをとどめたまひしのかみの
 庭の梢は今もしげれり
 三條 杉井 静江
 大君の心うれしく伏しをかむ
 大面の寺に秋霞たつ



三條市
 三條市
 三條市



長岡大野千代
 金色の稻田こそ豊か御膳の
 熱のみどりのいやさかいのる
 長岡三浦美代子
 御簾とよめたまひし長岡の
 かあとたましくおろかまつる
 富嶽 西山
 民草に垂れさせ給ひし御仁葉を
 懐ひまつれる今日のかしこ
 新組反町
 聖蹟をわれおろかしての
 大み教を永久に守らん



長岡三浦美代子
 大君のみもとたつねて舞多の里
 みゆきの空を今日も仰ぎぬ
 長岡高橋
 聖帝のみもとを仰ぎわればいま
 つきぬ想にしばし付む

長岡水島 愛子
 何となくおごそかなるや大君の
 御魂の如き雲の出るを
 長岡小川 日出
 清らなる秋氣を浴びてベタルよみ
 大帝の聖蹟おろがみまつる

見附を通過
 古志郡へ
 御歌を奉納
 長岡水島 愛子
 長岡小川 日出
 新組の聖蹟へ
 長岡三浦 美代子



長岡大野千代
 鬼子むと古歌にしろれしあちご路の
 御幸傳おもいよかしこし
 長岡今井ミイ
 大君のみあとしたひて銀輪は
 黄金の波をひた走りゆく

九月二十三日
 長岡大野千代
 御幸傳おもいよかしこし
 長岡今井ミイ

かか
 ぶくぶく
 いた
 けらね
 へあ
 けん

すぎ
 け幸思ひ
 宮の松
 風
 け
 長岡女子青年團
 高橋麗子



田代行在所にて
長岡黒田 幸子
いにしへの大君徳びて我は今
聖蹟おろかむ今日の嬉しさ

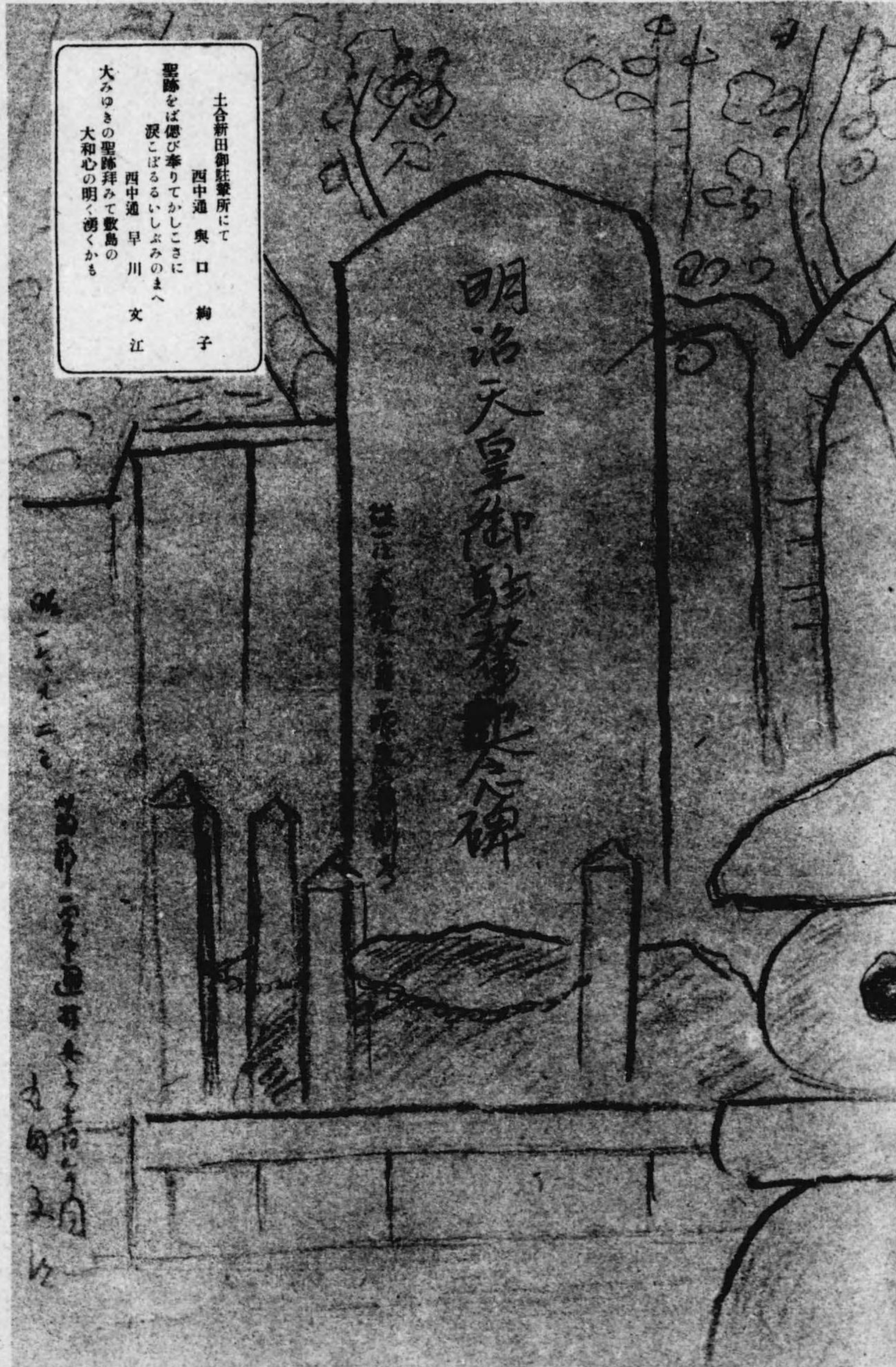
長岡黒川 きよ
かしこも黄金波路に御車を
おろかみましし先祖徳ばん
長岡川上 文代
聖蹟に向ひて立てば儼然と
御民と生れし今日のうれしさ

宮本村 九月二十三日
長岡女子青年園
笠井清枝



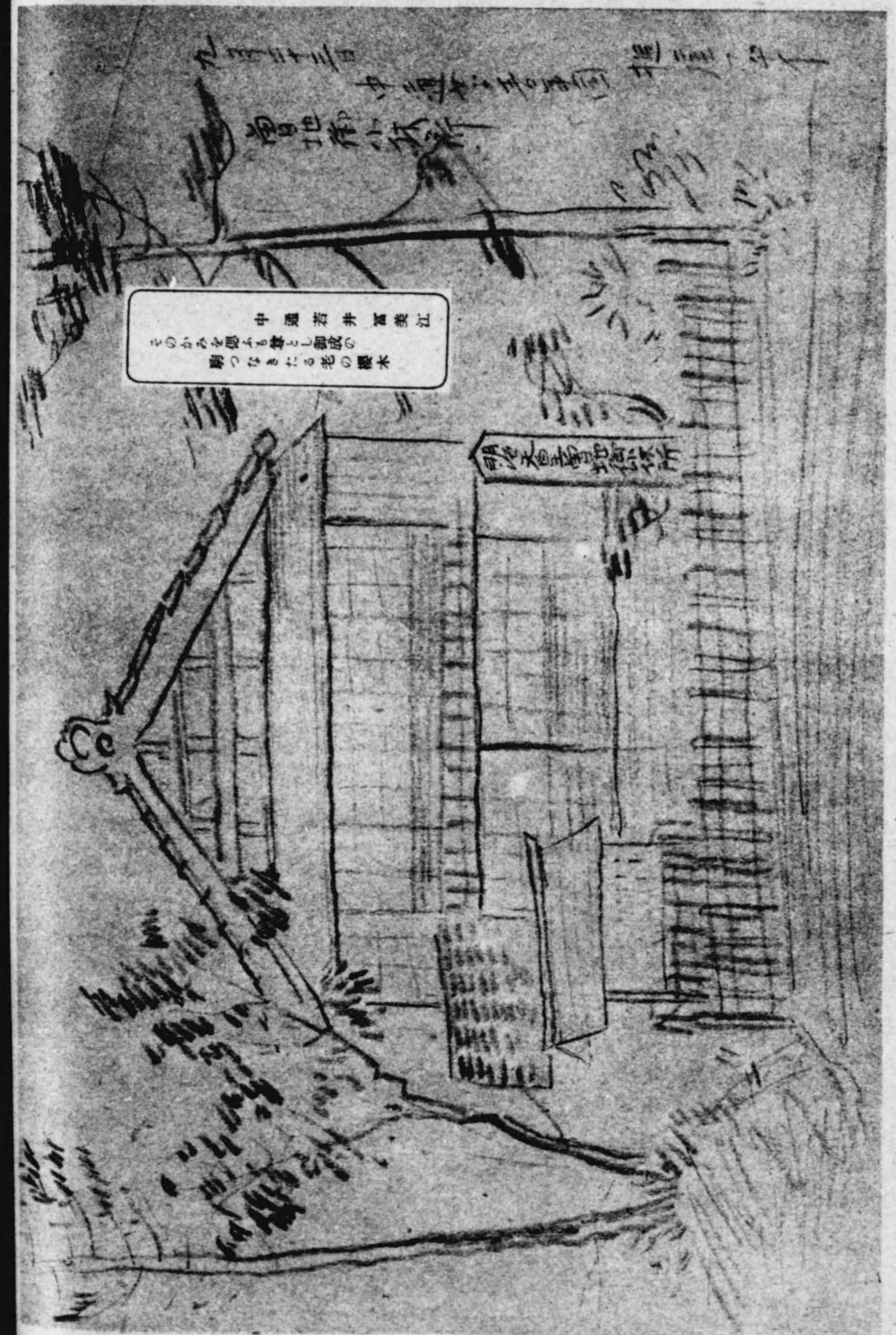
宮本村 九月二十三日
長岡女子青年園
森天彦

長岡若林 妙子
古への大君徳びて我は今
聖蹟おろかむ今日の嬉しさ
六つ十世を徳びまつりてみな等の
同じく
聖蹟をめぐる今日のよき日に



土合新田御駐蹕所にて
 西中通 奥口 駒子
 聖跡をば偲び奉りてかしこきに
 涙こぼるるいしよみのまへ
 西中通 早川 文江
 大みゆきの聖跡拜みて敷島の
 大和心の明く湧くかも

明治天皇御駐蹕記念碑
 土合新田御駐蹕所にて
 西中通 奥口 駒子
 聖跡をば偲び奉りてかしこきに
 涙こぼるるいしよみのまへ
 西中通 早川 文江
 大みゆきの聖跡拜みて敷島の
 大和心の明く湧くかも



中通若井富美江
 そのかみをも尊とし御成の
 駒つなきたる老の櫓木

明治天皇御駐蹕所にて
 西中通 奥口 駒子
 聖跡をば偲び奉りてかしこきに
 涙こぼるるいしよみのまへ
 西中通 早川 文江
 大みゆきの聖跡拜みて敷島の
 大和心の明く湧くかも

明治天皇御駐蹕所にて

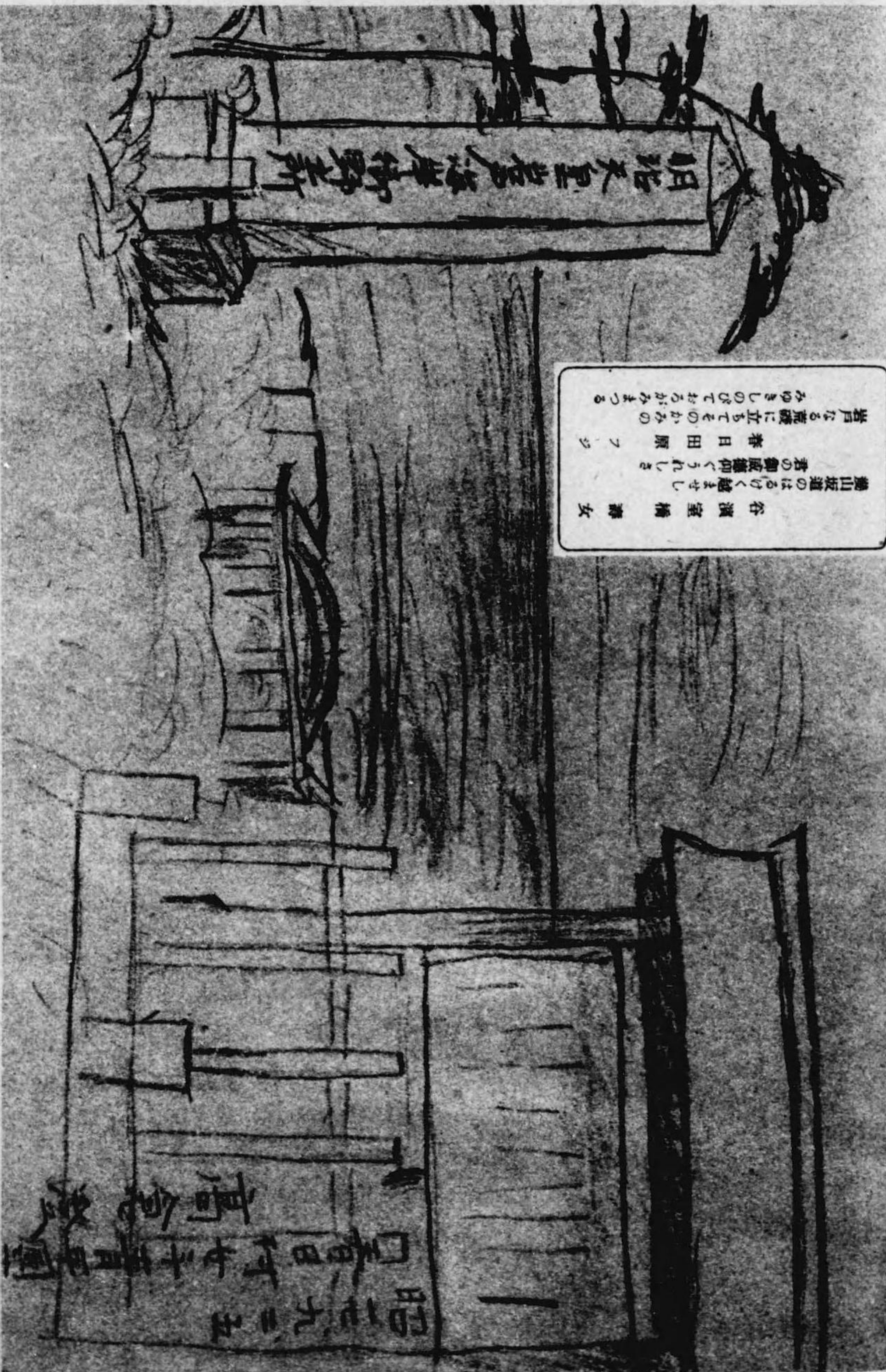


直江津伊藤
 直江津伊藤
 直江津伊藤



黒井御小休所にて
 直江津伊藤
 巡歴の隊伍とのへ立つ今朝の
 わがしあはせの聲かりける
 初雁の越後路深く入りたまふ
 みこころしのび心しまるも

直江津伊藤
 直江津伊藤
 直江津伊藤



善山坂道のほりく越ませし
 者の御成徳仰ぐうれしき
 春日田原
 岩の御成徳仰ぐうれしき
 岩の御成徳仰ぐうれしき
 岩の御成徳仰ぐうれしき

昭和三十九年
 高倉
 新野海岩天皇旧跡



古城御野立所にて
 八千浦柳澤トシ子
 銀輪をしばしとどめて古城の
 御聖蹟おがみの清騒きまつ

昭和三十九年
 関川
 八千浦



春日 風間 日キ
 いくとせのしは風吹きし青木坂
 青柳仰げばみあとしのぼる
 春日 小林 千代
 聖帝のふかごの趾をしのびつゝ
 茶屋ヶ原へと車はしらす
 春日 青柳 ヒサ
 秋空に神木ゆるる茶屋ヶ原
 大君しのぶ波の音かな

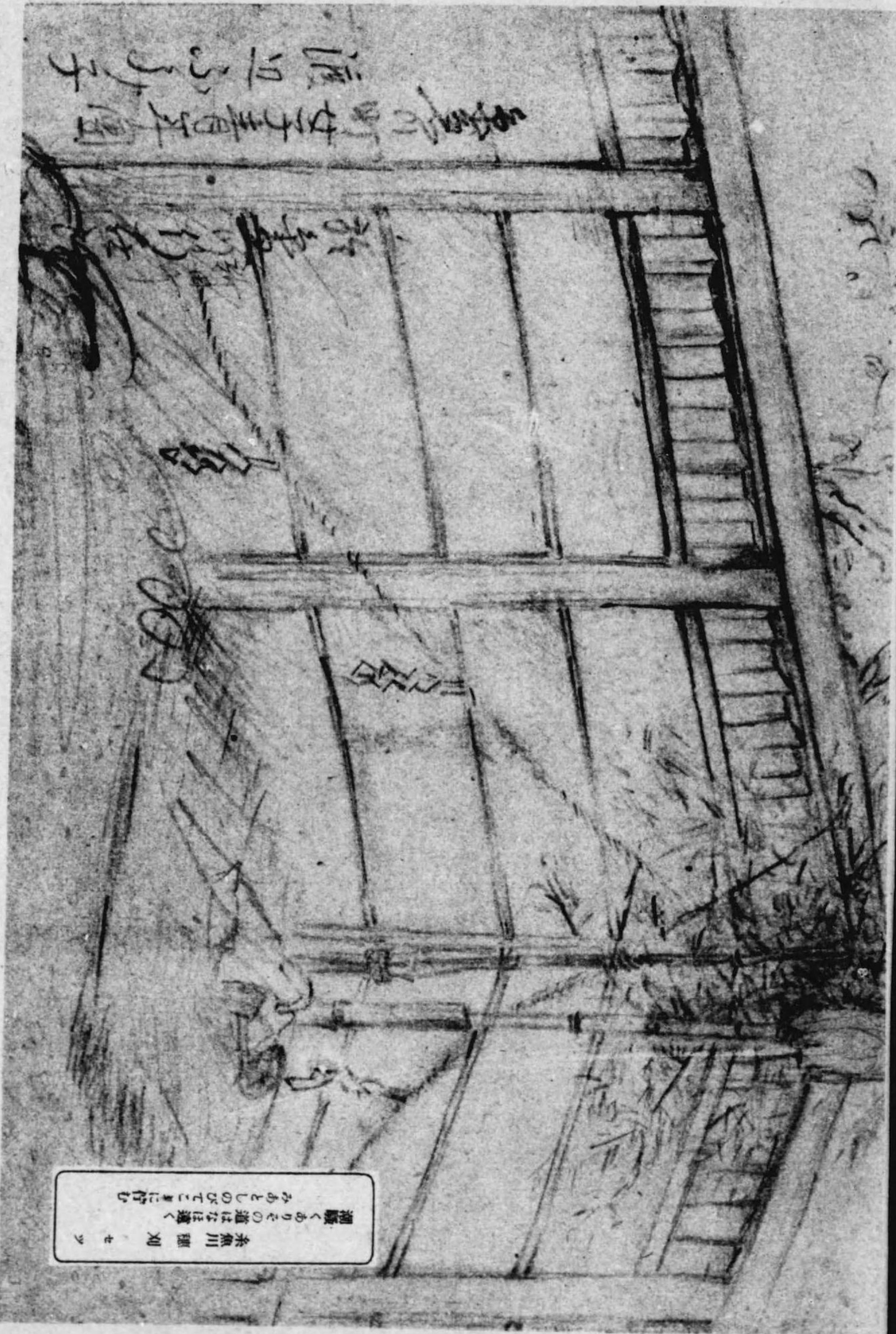
茶屋ヶ原 主月木坂にて

明治二十九年
 春日のさくらまき
 青柳ヒサ

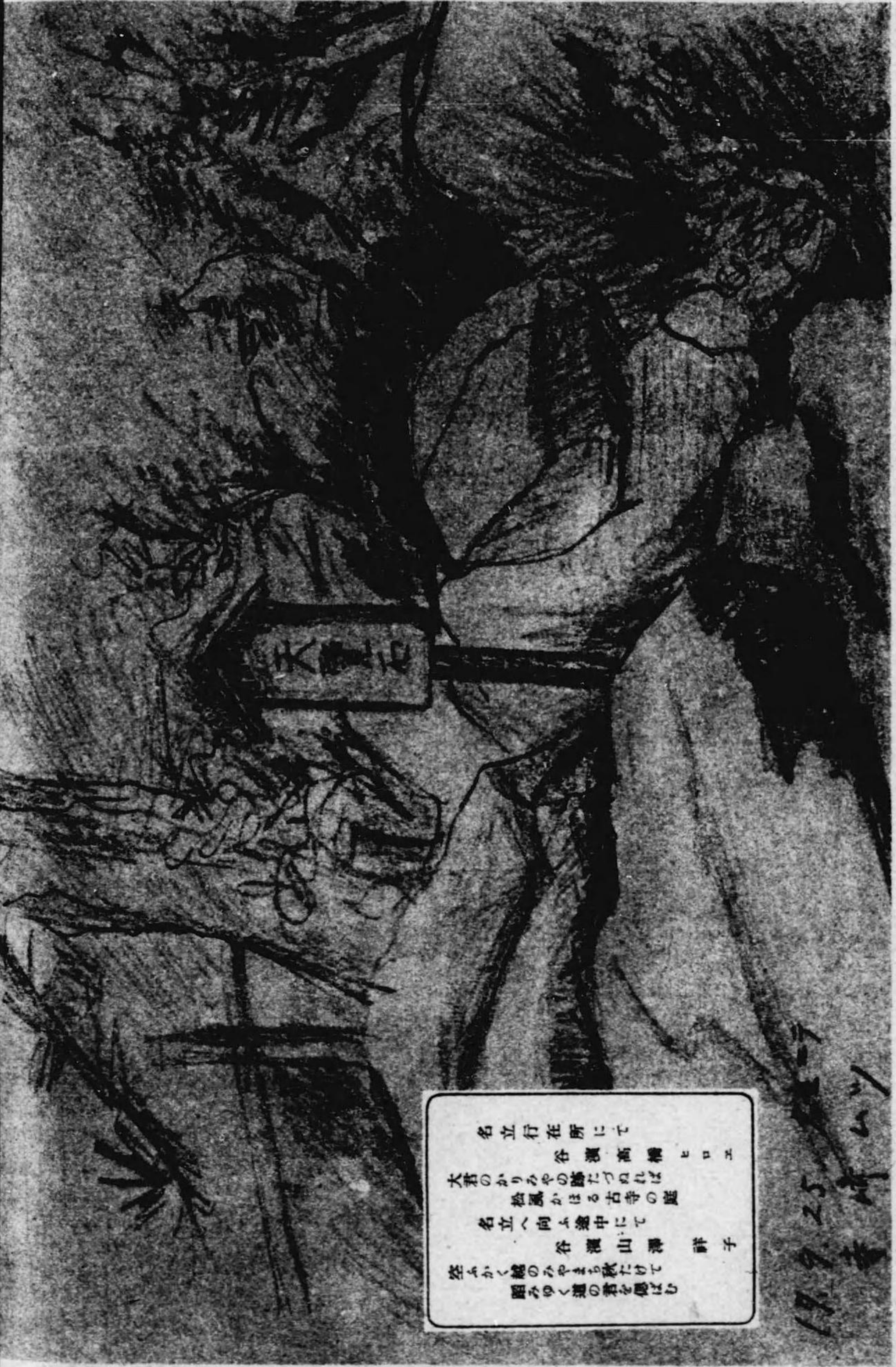


谷濱寺崎 ムマ
 みくろまのみあとしたりてわれ等ゆく
 海原のそちこしの長濱

昭和十七年九月二十五日
 長濱二天寺崎山



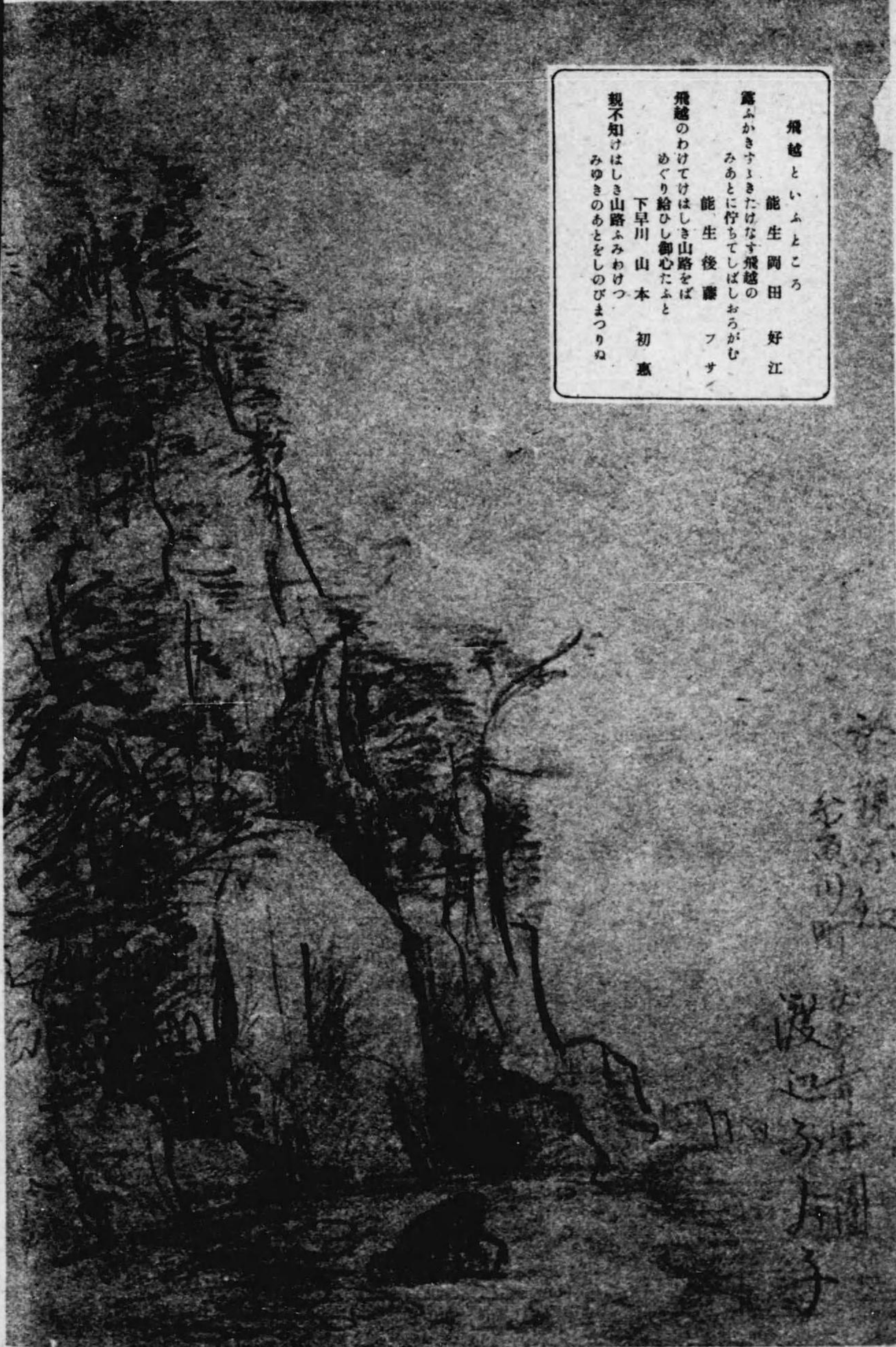
新井村 渡辺の寺
 新井村 渡辺の寺
 新井村 渡辺の寺



天竺
 天竺
 天竺

179.25.100
 新井村 渡辺の寺

飛越といふところ
 能生岡田好江
 露ふかきすまいたけなす飛越の
 みあとに佇ちてしばしおろがむ
 能生後藤フサ
 飛越のわけてけしき山路をば
 めぐり給ひし御心たふと
 下早川山本初恵
 親不知けしき山路ふみわけつ
 みゆきのをとしのびまつりぬ



渡辺ふた子

ここに聖蹟巡拜終る
 女子青年團銀輪部隊



女子青年團
 渡辺ふた子



九月十一日 前半區間 聖蹟巡歷隊員 計一八名

發出 午前九時〇分 着到 午前十一時四五分

所屬團名
妙高 女子青年團
關川 女子青年團
關山 女子青年團
東四ツ屋 女子青年團
同鄉 女子青年團
同
同
同
同
同

氏名
宮松 好子
郷松 節子
寺郷 悦子
石谷 敬子
大保 久貞
霜鳥 貞子
内藤 貞子
後藤 貞子
宮下 貞子
山崎 貞子
申田 貞子
増田 貞子
鈴木 貞子
阿松部 貞子

九月十一日 後半區間 聖蹟巡歷隊員 計一二名

發出 午後〇時三五分 着到 午後四時〇分

所屬團名
新井町新井 女子青年團
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同

氏名
清水 登美子
齋藤 静枝
大塚 静枝
堀部 静枝
岡本 静枝
杉本 静枝
舟見 静枝
原田 静枝
長崎 静枝
青木 静枝
塚本 静枝
宮本 静枝
近藤 静枝
瀧本 静枝
山本 静枝
小池 静枝
關本 静枝
植木 静枝
植木 静枝

九月十二日 前半區間 聖蹟巡歴隊員 計 二二名		發出 午前九時〇分	着到 午前十一時五分	所屬團名	高田市女子青年團
九月十二日 後半區間 聖蹟巡歴隊員 計 二〇名		發出 午後一時〇分	着到 午後三時〇分	所屬團名	高田市女子青年團
計 一九名		氏名			
計 二二名		氏名			
計 二〇名		氏名			

九月十三日 前半區間 聖蹟巡歴隊員 計 一九名		發出 午前九時〇分	着到 午前十一時二〇分	所屬團名	柿崎町女子青年團
九月十三日 後半區間 聖蹟巡歴隊員 計 二一名		發出 午後〇時三〇分	着到 午後一時	所屬團名	柏崎女子青年團
計 一九名		氏名			
計 二一名		氏名			
計 二一名		氏名			

同同同桐同同同同大同同同同同同同同同同寺大 島 津 泊津 女子青年團 女子青年團 女子青年團		發出 午前九時十五分	九月十五日 前半區間 聖蹟巡歴隊員 計 二〇名	所屬團名 氏名	着到 午前十一時一分	早池早山白小藤小大樋川納外中川成梅前海 川田川崎倉田田林城野山合谷山野合田澤田津 シタシ花笑リ壽セト みハイマ 靜享 フ露 ズ イミゲ衛子ツ惠ツ子容宰ツナヨノ香枝房ミ子
同同同同同彌同地同同同島同同同同同同同國 彦 堂町 上 上 女子青年團 女子青年團 女子青年團 女子青年團		發出 午後零時〇五分	九月十五日 後半區間 聖蹟巡歴隊員 計 二〇名	所屬團名 氏名	着到 午後三時四〇分	平小高新高德稻山渡丸小梨白松松小沖阿小早澁 澤林倉谷永葉田邊山林本井井井林野部林川木 シスカ初ヨハエ美キトノ芳セハツ マケ 早 ミ エノ枝シナト好イミヅ江ッナ子孝キノ文苗

同同同高同同同石同同同荒同同同高同同同 濱 地 濱 女子青年團 女子青年團 女子青年團		發出 午前九時〇分	九月十四日 前半區間 聖蹟巡歴隊員 計 二〇名	所屬團名 氏名	着到 午前一〇時四七分	羽關吉關田押上田桑大品小金小猪池寺橫和 田 田 村見村村原島田松子子林子瓜田澤山田 セ初ト美テテミ昌キトキ眞春フトヨ君キ清千 イ代ヨ枝え子ス子ノエヨ子枝ミ子子子ヨ子鶴
同同同同同西同同同同同同同同同同同同同出 越 雲崎 女子青年團 女子青年團		發出 午前十一時二〇分	九月十四日 後半區間 聖蹟巡歴隊員 計 二〇名	所屬團名 氏名	着到 午後二時三〇分	和小小松田内椎八岡小大佐鈴石棚小佐福安大 田林林永口藤谷木田玉矢藤木川橋林藤井部矢 カキミミチ和八テキ幸ミセナヨミツカヤ百ユ ズンヨオヨ子子ルミ子ッ子ヲ子イルイイ合リ

九月廿一日 前半區間 聖蹟巡歴隊員 計二〇名			
發出 午前九時〇分	着到 午前十二時	所屬團名	氏名
新津町 女子青年團		須戸 女子青年團	須戸 女子青年團
		津 女子青年團	津 女子青年團
		松 女子青年團	松 女子青年團
		金同同同村同同同	市田廣淺棚伊榎阿五木平小高箕青伊齋井夏佐久 川代瀬間橋丹本部嵐伏山林野和木澤藤浦川 ハタスフアシス春キフ房カセハのキ初茂菊知 ツ エマイミイナイ江ミミ子ネヨナ子子乃子江惠
九月廿一日 後半區間 聖蹟巡歴隊員 計二〇名			
發出 午後〇時三〇分	着到 午後三時三〇分	所屬團名	氏名
		加茂町 女子青年團	加茂町 女子青年團
		崎 女子青年團	崎 女子青年團
		條 女子青年團	條 女子青年團
		上 女子青年團	上 女子青年團
		同同同同田同同同同下同同同同大同同同同	笹須中笠梅木永牛大阿小荒小小星鹽川桑淺小 川佐澤原田村井腸塚部泉井向方野野口原野池 キノチハ ハ美ハキ惠シ愛イ室ヨセ 裕喜 ソ ツ ル 薰ノイヨイ房エ枝ルミ子ヅ子シ子シン輝子代

九月二十日 前半區間 聖蹟巡歴隊員 計二二名			
發出 午前一時〇分	着到 午後一時〇分	所屬團名	氏名
新發田町 女子青年團		石井山	石井山
		荒藤	荒藤
		高橋	高橋
		佐藤	佐藤
		伊藤	伊藤
		山口	山口
		藤口	藤口
		加藤	加藤
		長川	長川
		長谷	長谷
		荒木	荒木
		渡邊	渡邊
		高橋	高橋
		大川	大川
		小川	小川
		松村	松村
		中村	中村
		笹村	笹村
		同同同	同同同
		岡村 女子青年團	岡村 女子青年團
		浦村 女子青年團	浦村 女子青年團
		浦村 女子青年團	浦村 女子青年團
		原町 女子青年團	原町 女子青年團
		五十公野村 女子青年團	五十公野村 女子青年團
		同同同同同同同	清北三赤清渡小大高渡荒長長加伊山伊佐高佐荒石 野上原塚野邊川竹橋邊木川川藤藤口藤東橋藤井山 シハイリキキキシフフテシ澄ハミ澄 ナフミミ富 ヅル ヨヨヨ ゲ 子江ナネ江郁子ミツ子 ノイケンシミミゲミミイ子子子子子子子子子子
九月二十日 後半區間 聖蹟巡歴隊員 計二〇名			
發出 午後一時三〇分	着到 午後四時四五分	所屬團名	氏名
		新津町 女子青年團	新津町 女子青年團
		泉町 女子青年團	泉町 女子青年團
		合村 女子青年團	合村 女子青年團
		關村 女子青年團	關村 女子青年團
		同同同同同同同	小宮山伊伊岩金熊吉早川關皆川武橫奧阿渡小 島腰崎藤藤澤村木田川上塚川崎藤野村部邊野 キシ幸澄テ 芳フ笑ヨ信 三ル イセ ハヨハ クズ枝江ル孝江イ子子修重子修 ツツエナ

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同長	岡 女子青年團	發出 午前八時〇分	着到 午前十一時〇分	九月廿三日 前半區間 聖蹟巡歴隊員 計二〇名
恩武青田川若關田笠新高片今高小永天大森三	浦	氏	名	
田内木中上林川崎井保橋山井橋川島野野	幸トチサ文妙キユ清登麗義ミフ日愛君千キ美代子			
子ヨノヨ代子ヨリ枝美子子イミ出子子代ミ				
同同同二同同同刈同同同北同同同西同同同中	通 通 中 通	發出 午時	着到 午時	九月廿三日 後半區間 聖蹟巡歴隊員 計二〇名
田 羽 石	女子青年團	氏	名	
西荒田服渡佐古田竹入月神丸田品與廣樋若駒	野			
澤川中部邊藤越中田澤橋林田村川口川屋井	ヨス節カミフキミミヨ春ハ文久文絢知フ富ユ			
ミズサミツツ	ミイ子イツイエエ子キ子イ江子江子惠イ江			

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同三	三 條 市 女子青年團	發出 午前 時九分	着到 午前十一時四〇分	九月廿二日 前半區間 聖蹟巡歴隊員 計二〇名
高加加小瀬阿齋佐山渡馬渡成高星石松河杉鈴	波藤藤師田部藤藤崎邊場邊田橋野川永井井木	氏	名	
キキフミヨツ ヒニアハヤ喜惠フ清リミ靜百合	ヨミサヨシマ貞サ子子ルエ代美ジ子ツツ江子			
同同同同同黒同同同同同同同新同同同同同同同富	會 龜 女子青年團	發出 午後零時一〇分	着到 午後三時三〇分	九月廿二日 後半區間 聖蹟巡歴隊員 計二〇名
條 女子青年團	組 女子青年團	氏	名	
安上大渡粉小高井井牛清川反齋高中永中安西	藤原關邊川原橋上上陽水瀬町藤橋澤井澤井山			
松朋ヒムハヤ美トキカユイヤ久 シカシミス	枝子モノナイ代キイツキシス榮京ユツズチミ			

<p>同同同同同同同春 日村女子青年團</p>	<p>風小齋小齋小伊松 間林藤林藤林藤永 ヨ千フ良信ト ミヨ キ代ミ子子キ操シ</p>	<p>同同同同同同同同同同同同同同同同同同同 立女子青年團</p> <p>竹大高高高佐奧高高竹高笠岡市小橋五高岡細高 内門橋橋橋藤田橋橋内橋原崎川野本嵐橋崎谷橋 イアキ登カカアハ春ミタノ春みシコチ花セい サ 美 ツツ サ プ ちズ セノヨ子ンル子ノ子オカエ子子エウク子ツよ芳</p>
<p>九月廿六日 全區間 聖蹟巡歴隊員 計 二一名</p>		

<p>同同同同同春同同同同同八同同同同同同同同同直 日 千 浦 女子青年團 江津女子青年團</p> <p>市倉前本高田渡笹山笠柳關泉本加石古澤政伊秋岩 川石田多倉原邊川田原澤川 間藤塚川海木藤山崎 ミキ竹聰 フイト正千トシヨ靜ハ千悅喙久キ阿ユ ヨ 子子澄ジチミ江乃子オシ子ル子子子子子ミ子 子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子</p>	<p>同同同同同同同同同同同春同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同 日 濱 女子青年團</p> <p>橋黒青上田折齋木竹永黒高山藤室小小小服大寺 本川柳石邊橋藤村内井田橋澤田橋林林林部谷崎 一初ヒシ千フ英敏良初ツ宏祥フス 千夕輝セム ズ惠ミ 子江サエ子エ子榮子江ル枝子ミメ操代ツ子キツ</p>
<p>九月廿五日 前半區間 聖蹟巡歴隊員 計 二一名</p>	
<p>九月廿五日 後半區間 聖蹟巡歴隊員 計 二九名</p>	

九月廿八日 全區間 聖蹟巡歷隊員 計 四〇名

發出		到着		所屬團名	氏名
午前七時四九分		午後二時二〇分			
同	魚川町	女子青年團	穂	節子	高松
同	和川村	女子青年團	渡	ノ子	扇山
同	早川村	女子青年團	相	晃子	泉
同	早川村	女子青年團	山	シエ	竹
同	本村	女子青年團	那	エ	鹿
同	浦村	女子青年團	島	江	邊
同	浦村	女子青年團	樋	美	田
同	生谷村	女子青年團	伊	ミ	多
同	生町	女子青年團	沼	シ	清
同	生町	女子青年團	星	ノ	伊
同	部村	女子青年團	伊	シ	平
同	立村	女子青年團	野	エ	中
同	立村	女子青年團	野	サ	長
同	磯村	女子青年團	藤	江	磯
同	磯村	女子青年團	石	子	中
同	立町	女子青年團	藤	エ	丸
同	立町	女子青年團	肥	ツ	山
			崎	ナ	岸
			原	芳	林
			橋		
			高		
			橋		

根		小		今		同		同		同		歌		名		西		市		同		同		
知村	女子青年團	瀧村	女子青年團	井村	女子青年團	海町	女子青年團	外波村	女子青年團	立村	女子青年團	海村	女子青年團	立村	女子青年團	振村	女子青年團	振村	女子青年團	路村	女子青年團	同上	同上	同上

高松	澤	扇山	泉	竹	鹿	邊	田	水	藤	野	村	田	野	村	山	村	岸	林						
八	タ	キ	ヨ	シ	愛	モ	ミ	サ	キ	ト	君	園	キ	ミ	カ	歌	サ							
重	マ	ヨ	エ	ン	子	エ	子	子	子	子	子	子	子	代	江	エ	オ	シ	ル	子	ミ			

昭和十八年四月十日印刷
昭和十八年五月十日發行

新瀧市新瀧縣廳教學課

發行人 玉井成光

印刷人 瀧澤正直

印刷所 中外商行印刷所

電話 一、九三〇番

新瀧市新瀧縣廳教學課內
發行所 新瀧縣青少年團

436
27

終

終